

商 況

販賣旬報 第198號 昭和7年6月11日

製鐵所販賣部

變り種 3、鏝生子板

1) 昔男ありけり、年古く製鐵會社のほとりに住みてありけるが、何かよき儲け口は無きかと探しあるくうちにふと黒板原板の剪斷屑に思ひ付くことありて、之を買取り、竈に入れてアンニールして小さき瑛瑛鐵器の材料、或はポスターの上下を止むる金具などに用ゆるものとして市に鬻ぎありきて、なりはひのたつきとするほどに3とせ4年前より不景氣となん云へる風の、いとちたく吹き捲りてよるづ凋み果て、これ等のものもあまり賣れずなり行くまゝに、買ひ入れたる材料のみ山と積みて何時賣れるとも見えず困じはてゝありける。

世の常のおのこなれば氣もはばみて消えも入りなんに此男いとも勝ぐれしきがにて、何か外に用ゆる術もやあると日夜思ひをこらすほどに、その男の勇氣を賞である物識りの、さまで心を碎くなればよき智慧をこそ借さめとて其剪斷屑を電氣熔接して浪板を作りて見よとのヒントを興へられしかば、こはよき事を聞きたるものかなと、それより思をひそめてもろもろの手だて盡して、こぞの若葉の頃に至り漸く試作に成功し、霜月には工場も出來、今年睦月初めより町に賣出す運びに至りけるとなる。

2) と云ふ譯で生れて來たのが定行嘉太郎氏の「鏝生子板」である。製作の順序を述べると、

1、買つて來た剪斷屑の内から幅4½"以上のものを選び出し、スクラップは密着のまゝであるから先づ剝離作業をする。

2) 一片は耳付きとなつて居るので形狀を整へウエルドに便なる様適當の大きさに剪斷して短冊形にする。

3) 不純物が附着して居るとウエルドの際スパークして穿孔するので之を除去する爲め硫酸洗ひを行ふ。

4、其洗滌したものを熔接臺に上げ3mm—5mmラップした上を200ボルト位の電流を通じ熔接機で熔接するのである。

これは最初はスポット式にヒントを得て研究した結果遂に直線式のウエルドに成功したもので實物を見ても絶対に剝脱することはない。

此點が製作の最も主眼とする處で製品と共に特許となつて居るとの事である。

5、次は之を矯正ロールに掛ける。此ロールは面を平滑にするのは勿論であるが副目的としてはラップの厚い部分を壓搾して低くするものである。猶此ロールを通る時定められた幅に切斷する様になつて居る即ち此矯正ロールは矯正、剪斷を兼ねたものである。

6、矯正ロールで幅は規正されるが長さは未だ繼いだ儘になつて居るので之を6尺、8尺、9尺5寸等注文の長さに切斷する。

7、此れで浪板原板に相當する格好が出來上つたのでトタン板なれば此次は亞鉛鍍をするのであるが、ラップ、ウエルドの關係で面が平滑でないので、亞鉛を非常に喰ふのと手数が掛る爲め普通品の亞鉛鍍の約2倍の鍍質が要るから鍍金はしない、其爲此處で直に山付け機械に掛けて山付け作業をする、即ち原板の浪板が出來たのである。

8、其次は此裸浪板に亞鉛鍍の代りにペンキの吹き付け塗りをして、初めて1枚の鏝生子板が出來上つたのである。

3) 此鏝生子板は前述の通り最近製造し初めたもので従つて設備や工程等で改良すべき點は多々ある様であるが屑からの歩留りは約80%即ち1噸の黒板屑から30×6として大凡210枚内外の製品が出來るとの事である。熔接能力は現在では6呎もので1枚の原板を作るに12、3枚繼いで1臺1日12、30枚は出來るが設備の改善と技術の錬磨によつては向上の餘地が充分殘されて居ると見られる。

利害得失は常識的に考へて分る通り、何にせよ12、3枚繼いたものだから外觀が悪いと云ふのは慥かであるが之れは環境と主觀によることで菊石も厭と見えることもあるから一概に云へないかも知れない。次は亞鉛鍍金してないことであるが、今日此頃の様に普通のトタン板が如何にして薄く亞鉛を附くべきや換言すれば一刻も早く錆びる様に研究した結果アンモニヤで吹き飛ばすことまで考へて1枚に精々70匁やそらの亞鉛しか附いて居ない爲め、10日も雨に晒すと赤い涙が出ると云ふ代物であるから或はペンキ塗がましかも知れぬが概念としてはマアマア缺點として置こう。

利益はウエルドするのであるから長さが自由と云ふことである、普通の浪板では30×8が限度であるが此鏝生子板はセオリカルに云へば地球を巻く様なものも出來る

程長い物も出来る筈である、現在迄では 9 呎半が一番長かつたそうである。今一つは繼目がある爲め丈夫な事である、誰れやらの話ではないが「悪貨は良貨を駆逐す」と云ふ難有くない法則が完全に裏書きされて居るのは正に黑板界である、あれほど頑張つた製鐵所も 30 番が 260 枚から 268 枚に降参し、近來は吨 280 枚物が通り物となつたのであるからトタン屋根に上るものならペカペカして危くて歩けず正に薄氷を踏む思ひで、下手をすれば踏み抜きをし兼ねまじきものであるが、此鐵生子は 5 時おきに 2 倍の厚さの帯が入つて居る爲めペカペカが防げてシャンとして居るそうであるがさも そうだと思はれる。

4) 主にどんな處に使はれるかと云ふと今迄の處では亜鉛鍍でない爲め永く保たないと云ふ通念によつて一般の建築用には使はれないが普通の浪板より値段が大部安いので一時的のものに使はれて居るとの事である。則ち近來は養蠶の方法も昔と變つて野外養蠶が盛んになつて養蠶期に小屋を建ててが此假小屋用に随分出たとの事である。また建築の爲め仕事場の屋根などの需要も可なり多いとの事であるが將來はこうした假設的用途から進んで一般にも普及されることと想像される。

5) 「不況は産業發達の母なり」にも一面の眞理がある。如何に材料や工賃が安くなつたとしても、歐洲大戰の好況當時の製鋼業者で今日の様には 50 何圓の鋼材を生産して 1 日でも生きて行けると考へたものがあつたらうか 苦しい苦しいと云ひながらも過去 3 年半棒下げの苦境でもまだ製鋼會社で御辭儀をしたものがない處か益々増加すると云ふのも一は此不況が鍛へて呉れた賜である。此鐵生子板も不況が齎した産物である廢物利用、利用厚生も此處まで來れば殆んど極致であらうと思ふ、使へばよくも使へるものである。之も正に日本人の特性の發揮である。これから考へると鐵鋼界にもまだまだ改善利用の餘地が充分残されて居る様な氣がして心強いものがある。

7、8 月積 鐵力板 協議會一(發表なし)

月日場所 6 月 2 日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、四社及問屋

議事 7、8 月積 鐵力板賣出に關する件

買手側の希望は、外注値段は別項の通り大體前月と變らざるも内地市場は大量の外注品入荷と賣行不振とが重なりて連日崩落を演じて居る現状なれば 100 封度 8 圓 50 錢 170 封度 15 圓に願度しと云ふことであつた。

賣手の意見としては今市場に追従して値下げを爲すとせば相當大幅でなければ到底買氣を誘ふことが出来ない

がそれを敢行すれば外注入荷品は勿論、現在手持の一般市場品の混亂を來たして益々悪化を助長することとなる

此際は手持の消化を俟つて除々に轉換を持つより外策はない。當所の生産品も問屋筋に負擔の意思なしとすれば結局當所か 4 社にて之に當ることとなるを以て今月は總ての發表を見合せ當所と 4 社の兩者間に於て適宜善處することとした。

製鐵所 鐵力板 7、8 月積

	100 lbs.	170 lbs.
Cif. Price	£ 0-16-5	£ 1-9-8
Ex. @ 1/2%	¥ 9.38	¥ 16.98
Int. 1.25%	0.12	0.21
Duty	0.53	0.90
Charges	0.08	0.15
	¥ 10.11	¥ 18.24

三エス會一5 圓上げ

日時場所 6 月 6 日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、三井、三菱、日立、高島屋

議事 8 月及 9 月積 珪素鋼板賣出しの件

1、値段 外注値段は英國品の僅少の軟調を除けば前月と變らざるも環境の不良もあれば、今月は若干の値下げをされたしとの希望があつたが、値下げとしての大なる理由もなく、それかと云ふて時世が時世故大幅の値上げと云ふことも出來ず結局 5 圓上げの次記値段に決定した

(イ) 電動機用 B 1 級 裸バンド 1 吨に付 235 圓
但裸散積は以上賣値の 1 割引

(ロ) 電動機用 D 1 級 函入のもの 1 吨に付 275 圓

(ハ) 變壓器用 T 1 級 函入のもの 1 吨に付 330 圓

(ニ) 2 級品は 2 割以内混入差支なし 2 級品の賣値は各々 1 級品賣價の 30 圓引のこと。

(ホ) 以上各種の賣値は 6 月 10 日迄に申込のものに適用し夫れ以後のものは適宜製鐵所に於て決定のこと。

2、貨車送 珪素鋼板の貨車送り品に關する取扱は 4 月 26 日附板第 29 號を以て夫々通知した。次に参考迄に之を記す。

(参考) 珪素鋼板貨車送りに關する件

(イ) 現品裸散積及裸バンド締の貨車載渡のものは八幡より有蓋貨車積として直送のこと。

(ロ) 現品函入貨車載渡のものは有蓋貨車積入口の關係上積込頗る困難にて引受致し難きに付今後函入のもの鐵道輸送品は目的地に近い本所指定河岸渡を希望す。但し次の 2 項何れか承諾のものは此限にあらず。

(ハ) 現品函の貨車載渡希望のものは目的地に近い本所指定河岸驛迄船送りとし夫れより無蓋貨車に積換へ入念に防水シートを掛けたる連絡輸送とすること。但し

鐵道輸送中に於ける諸事故は一切本所は其責を負はざるものとす。

(=) 本所に責任ある輸送を希望の向は鐵道輸送品に關し函入を廢し裸バラ又ハ裸バンド締とし有蓋貨車送りに變更のこと。但し比の場合B級品以外の荷造變更の爲め生ずる函代は控除せざるものとす。

して申込通り引受のことにした。

申込數量 耳付 定尺 切板 計
500 磅 20" 67 587"

不況の深刻は日を重ねるに従つし甚だしく鋼材總て買氣は地を拂ひ、前月 1,800 磅の申込が僅少で驚いたものが今は愈々 1,000 磅を割つて只の 600 磅となつた。

6、7月積線材賣出理事會—9

圓下げ

5月31日丸ノ内會館に於て6、7月積線材賣出理事會を開催、5社側は現在市場在庫約18,000磅を擁し居り其の上製造家在庫約8,000磅合計26,000磅あり。市場常備在庫10,000磅あれば事足るに16,000磅の浮動現物がある爲め値段は上伸せず、其れに加へ内地アウトサイダーは依然として共販値段を下廻りて賣

LATEST CURRENT PRICES OF ELECTRICAL STEEL SHEETS

	0.014" (0.35mm) x 3' x 6'		German (Ex. \$33)
	English (Ex. 1/8-1/4)	Special Lohys (B)	Bismarkhutte (B)
	Stalloy (T)	(B)	(B)
Cif or C. & f. Yokohama	£ 27-11-6	21-12-6	\$ 60.00
Exchange	¥ 311.43	¥ 244.23	¥ 181.82
Marine Ins.	—	—	0.7%
Draft Interest 1.3%	4.05	3.17	1.27
Import duty	5.09	5.09	2.36
Landing charges	1.10	1.10	5.09
per 1 long ton	¥ 321.67	¥ 253.59	¥ 191.64
per 1,000 kgs.	316.60	249.60	188.20

6、7月積厚板共販賣出理事會—3圓下げ

月日場所 5月30日、製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、川崎、淺野、東海

議事 1) 6、7月積先物賣出の件

外注入電は16弗85仙と前回より15仙となり、本日の爲替31弗%にての邦貨換算は磅當り72圓23錢となる、市場の在庫も多少減少の傾向なるも周境の不況により申込數量の期付は困難なるも外注追従主義に則り結局次記條件により賣出すことに決定した。

a. 賣出數量、從來通り、發表せず、申込の結果を見て適宜決定のこと。

b. 値段、全部2圓下げとし次の通りとす。

耳附 63圓 定尺 71圓 切尺 72圓

c. 申込締切日 6月4日

2) 隨時賣値段改正先物値段の決定に伴ひ隨時引合市場品及規格品値段を次の通り改正した

a. 市場向品 耳附 65圓(2圓下げ)

定尺 73圓(〃) 切板 74圓(〃)

b. 規格品

造船用小口注文 78圓(2圓下げ)

〃 二規格小口注文 81圓(〃)

〃 無規格小口注文 76圓(〃)

〃 大口注文 68圓(〃)

c. 其他のエキストラは全部据置とし大口引合品に對しては其都度協義決定すること。

6、7月積厚板共販の締切—申込600磅

6月4日に締切つた6、7月積厚板申込は別表の通りであるが、定例理事會は便宜省略

崩し市場極度不振にし買氣起らざる爲め相當期間極度の減産を斷行し賣出數量を僅少に止め値段も税金抜きの輸入もの並に値下げすべしと要望す。

組合としては一般要望に従へば今後半年もすれば立直ると思はるゝも其の時には共販の地盤は人手に渡り其活路を更めて他に求めざるべからざる状態に置かるゝは火を賭るより瞭である。守りて5社の要望に従ふが是か、積極的に賣向ふが是か、孰れにせよ、組合として迎るべき道ならば後者に従ふことが永續性あるものと解し現在市場値段に追従し國內使用と輸出向との如何を不問、國內、國外に販路擴張の決意を以て値鞘を附せず次記値段にて敢然賣出し決行した。

記 製鐵所 1磅附 金 78圓 9圓下げ

神戸製鋼所 " 金 77圓 50錢 "

Wire Rod		May 31st, 1932. Tokyo	
Quotation of June shipment			
Duty paid CIF	@ \$ 25.50	CIF	@ \$ 25.50
Ex @ \$ 32.00	¥ 76.69	Ex @ \$ 32.00	¥ 79.69
Interest 1.3%	1.04	Interest 1.3%	1.04
Duty 18%	14.34	Duty ¥ 1.30% kin	22.01
Landing charge	1.30	Landing charge	1.30
per 1.015 kgs	¥ 96.37	per 1.015 kgs	¥ 104.04
per 1.000 "	94.95	per 1.000 "	102.50
豫定さるゝ新關稅の場合			
In Bond CIF	@ \$ 25.50		
Ex @ \$ 32.00	¥ 79.69		
Interest 1.3%	1.04		
Landing charge	1.30		
per 1.015 kgs	¥ 82.02		
per 1.000 "	80.80		

6、7月積線材の申込—申込3,900 吨

申込締切は6月3日に行はれた。敢然9圓の値下げを斷行して賣りに出た共販の線材は別表の通り4,000 吨に満たぬ申込であつた。初めの豫定では安値物での肩代り用としても相當數量の申込がありはしないかと思はれたが其の望の網も切れでこんな結果となつた。以て如何に惱みが深刻であるか窺はれる。

6、7月積線材申込及引受數量

店別	區分	神戸製鋼 製鐵所		計
		神戸製鋼	製鐵所	
東 大 名 八	京	30	860	890
	阪	1,210	1,580	2,810
	古	—	130	130
	屋	—	50	50
	幡	—	50	50
	計	1,260	2,620	3,880

備考 引受數量は申込數量に同じ。

中型山形定期値段取決め理事会

6月1日丸ノ内會館にて6月積定期賣出し理事会開催、第1回値段取決め之事として定期團及組合側双方眞剣に討議、定期側は體驗より割出したる昨今の市場悪化の狀勢並に丸鋼安値に追込まれたるに原因し、組合外の製造家が多少共高値に在る山形鋼に向て進出しつゝある等と悪材料を並べ立て精々下値にて取決めんと必死の態、組合側としては輸入値段は相當高値に置かれ、早晚關稅増額の氣構へあり僅か1ヶ月位の間に定期團の説明する如く極度に悪化したるものと思はれざるに據り前月値にて折合ふ事に努めたるも、市場悪化及組合外メーカー値段を考慮し結局〇〇圓にて決定した今月は定期團より値段發表せざる様願度しとの申出ありたるに依り一切發表せざる事にした。

6、7月積黑板共販理事会

月日場所 6月8日、大阪電氣俱樂部

出席者 製鐵、川崎、中山、徳山、日鋼及4社

主なる議事 減産と6、7月積賣出に關する件

1、難局打解對策に就て 目下混亂せる市場に對して無策なる賣出を爲すは更に市場を悪化せしめるのみなれば此の際根本的對策を擬議し、組合内部の結束をかためる必要ありとなし、一時賣出を延期してゐた黑板共販組合は去る8日大阪に理事会を開き冒頭打解策に付ての腹藏なき意見を交換した結果大體次記の通り満足なる申合せを得る事が出來た。

1、減産 元來減産其自體は「賣れた丈けしか賣れない」現在の共販組織の下に於ては賣行に依つて自然的に調節せらるゝものではあるがメーカーの滯貨に依つて市場を壓迫することなきを保し難いとの見解から次の通り嚴重なる監督の下に3割減産を斷行する事を申合せた。

(1) 減産の數量は3割とす。

(2) 減産の期間は6月より9月迄とす。

但し中山工場は6月より11月迄

(3) 減産の方法 壓延臺數を減ずるか又は休日制に依るか各社の任意とす、但し豫め理事會に提出し其の承認を経るを要す。

(4) 監督 以上實行を確保する爲各社より1名(但し製鐵所及川崎よりは2名)のオブザーバーを選出し理事長の指揮監督の下に各社に常駐、實行を監督せしむ。

(5) 罰則 萬一組合員にして違反ありたる時は組合より除名し積立金を沒收す。減産の方法として能率(生産又は結果)に依らず能力(原因)に依つたのは一見減産としては矛盾するが如きであるが實際上の効果は遙かに期待し得らるゝと考へられる。即ち(イ)生産數量を檢査することは困難である(ロ)1臺の性能には左程の差を認められない、(ハ)機械の運轉休止を監督することは最も簡單明瞭である。

又罰則として除名、從て組合の解體を賭したの各組合員が共販繼續に熱心である現状として此以上の罰則はないと考へたからである。以上減産實行の曉は薄板界の現有勢力45臺が31臺となるので1臺當りの能力を400 吨としても12,400 吨、而も此の内より珪素鋼板、特優鋼板、客車用鋼板、仕上鋼板等の特殊物を除けば恐らくは薄厚物の生産は9,000 吨に過ぎぬであらう。

2、販賣監理 然し減産が實行せられても販賣監理まで進み、組合の販賣以外に市場に1 吨も出ない事が確證されない限り市場には未だ疑惑が残るであらう。此の點も充分議論せられたが遽に其の具體的方法を見出すことが出來なかつた。然し減産オブザーバーの起用はたしかに此點にまで何等かの收穫を期待し得るのではなからうか。

更に特筆せねばならぬことは組合員全員の宣誓である。我々は正義の假面をかぶつた不正義であることを強調し、其の杞憂なきを宣誓し、萬一違反ありたる時は世の罵を甘受し組合解體の責任を一身に引受くることを誓つたのである。

1、賣出に關する件 以上申合せ後6月積賣出に入る

1、販賣數量 薄物 (イ)内地向 6,000 吨 (ロ)輸出向 無制限 厚物 特に制限せず。

2、販賣方法 3箇月間はセイラースオープンジョーンに依る。但し厚物は此の限に非ず。

3、販賣値段 (薄物部)

(イ)内地向 120圓) 30吋×6、7、8呎は同値とす。
(ロ)輸出向 110圓)

(厚物部)

12 枚物	118 圓(20圓下げ)	7 枚物	108 圓
11 枚物	116 圓(")	6 枚物	106 圓
10 枚物	114 圓(19圓下げ)	5 枚物	104 圓
9 枚物	112 圓	4 枚物	102 圓
8 枚物	110 圓	3 枚物	100 圓

格差従来通り。輸出向値段は内地同様とす。

外注値段は前回の協議會に提出の通り。

7、8 月積小型山形鋼賣出理事會一大幅値下

月日場所 6 月 7 日、製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、釜石及三井物産

議事 7、8 月積小型山形鋼賣出しの件

大勢の然らしむ處今月は臨時引合 1 噸もなく市場も火の消へた様な今日曇閑として逡巡すれば徒に他の勢力に侵蝕せられて自滅に陥るのみならず、關連する他鋼材との均衡等を考慮に入れる時は、僅少なる値下げでは何等の効果も期待出来ぬ故思ひ切り次記の通り大幅値下げを斷行して將來に備ふることゝなつた。

外注と決定値段

mm	C.I.F.	河岸着	決定値段	備考
3×20	\$ 17.00	¥ 70.90	70	5 圓下げ
3×25	16.25	68.66	60	8 圓下げ
3×30	16.00	67.92		
3×40	15.85	67.47		
5×30	15.85	67.47		
5×50	15.00	64.94	55	4 圓下げ
4×45	14.75	64.19		
1/4"×1 1/2"	14.75	64.19		
m m				
6×45	14.75	64.19		

Ex. @ 33 Duty. 18.63 Int. & charges ¥ 1.90

5 月中三港輸入概況—復々 2 萬噸

1、商品界、證券界押しなべて金輸再禁止後のインフレーションを買ひ過ぎて注射による小康症状をめぐら減法に樂觀してゐた間に、痙攣的に手を出したのが先月、今月の 2 萬噸近い輸入である。

急轉直下理想樂觀の反動が押し寄せ政局不安、米國金輸禁止説の挽歌に再度棺桶に兩足を突込んだ今となつては此の數量は決して輕い負擔ではなく猪喰つた報ひは覺悟しなければならぬ。

2、昨年 5 月と今月とを比較して見ると。

品種	區分	7 年 5 月	6 年 5 月	増減(-)
丸角平等	鋼	734	429	405 ?
	鋼	194	27	167
	鋼	767	98	669
	山	277	—	277
溝工	山	74	22	52
	形	19	54	(-) 35
鋼板(0.7mm以下)	形	26	—	26
	力	589	281	308
鋼板(0.7mm以上)		1,654	922	732
		9,724	3,051	6,673

軌線	條材	23	962	(-) 939
シートパイリング		3,309	4,572	(-) 1,263
鋼其	管他	1,038	185	853
		128	1,111	(-) 983
		1,362	438	924
計		19,917	12,152	7,765

昨年より溝形、軌條、線材、鋼管で約 3,000 噸減少し其の他で 11,000 噸増加して差引 8,000 噸の増加である。其中、鉄力の 6,700 噸の増加が目立つて甚だしく増加數量中の 61% に相當してゐる。

前年同期累計と本年累計を比較するに本年少くなつたものは矢張溝形、軌條、線材、鋼管とそれに工形が加はつた 5 品種で約 10,200 噸減少し、其の他で 33,700 噸増加して差引 23,500 噸の増加である。鉄力は 18,000 噸の激増で増加數量中の 53% を占めて居る。減少の親玉は線材で減少數量中の 80% に達し鉄力と線材攻守處を異にして本年は鉄力が斷然ダークホースとなつて跳梁を恣にして居る。

3、品種別に眺めると條鋼類 2,000 噸の中、丸鋼は前月の 2.7 倍に達してゐるが前月が過去數年來最も僅少の數量だつたので此の比例になつたので依然として特殊の物が大部分で、久しく輸入を續けられてゐた 6mm も遂に姿を消すに至つた。平鋼が多過ぎる感があるが横濱の 419 噸の大部分は刃物用、神戸の大部分も特殊の小口實需用である。然しながら本年累計 3,043 噸は決して少い數量ではない、何とか出來ないものであらうか。型钢の殆ど總ても造船材料である。

折角權兵衛が種を蒔いた此の畑、鳥につまつかせたくないものである。0.7mm 超鋼板の大部分は中板の思惑物である、無いようであるのは外注と何とかである。其他では鋸用鋼板が主要なものである、0.7mm 以下では浪原が大部分を占めて居るのは一考を要する。

線材は前月よりも約 700 噸減少したがそれでも 4、5 兩月で 7,500 噸本年線材輸入數量の 60% となつた。年初 3 ヶ月間が過少であつた事は否めないが多分に危険性を孕む線材ではあるから何處の割れ目から大擧飛び込んで來るか分らない、其の心配の要のない現状とは思ふが三省の價値は充分にあるのではあるまいか。鋼管は一高一低今一息の感があるが着々と理想實現に精進してゐるらしく今月も僅少の數量に止つたのは喜ばしい。

卸賣物價が金輸出再禁止前の指數を下廻つて居ると言はれてゐる今日、何と云つても 2 萬噸の數量は何處かに影響をせずにはをかかないであらうが、證券界と違つてインポーターの少しばかりの自重に加へて爲替安が障壁となり、本國安が警戒を喚んで酔ひながらも埒外に踏みは

づさなかつたのは我鐵鋼界のせめてもの幸ひであつた。

事新しく言ふまでもなく近來我鐵鋼界の力と世界の經濟狀態と並に澎湃として興りつゝあるイデオロギーの行衛を併せ考へる時、輸入思惑は今後益々危い藝當となるのではあるまいか。

ブラツセル齋藤囑託通信 6月4日入電

市場閑散ながら戻り、相場變らず。

5月15日發信 市況は大體先週と同様にて既報の通り各メーカーも此上の安値には如何に換算しても賣應すること不可能なる故寧ろ工場を閉鎖して時期を待つと云ふ形勢にて今週棒鋼の相場は殊に強含みと相成申候

半製品は英國の關稅引上(33½%)の爲大打撃を受け何れも下落致候工形鋼も佛國の競争の爲弱氣と相成候

	Export.	Inland.
Bars	£ 2-4-6 to 2-5-0	fr. 450
Angles (base)	2- 4-6	450
" (med.)	2- 5-0	—
Joist (N. S.)	2- 2-6	425
" (B. S.)	2- 3-6	435
Hoops	3-10-0	675
Blooms	1-19-0	370
Billettes	2- 0-0	360
Sheet bars	2- 1-0	380
Plates (5mm or ¾")	2-14-0	530

5月20日發信 市況は大體保合ひ只半成品幾分弱氣に見受けられ申候何分本週は「パントコート」祭の週間とて祭氣分とて染みたる商談御座なく候

東西市況—總賣

物皆腐る梅雨が來た、例年の事ながら今年は殊更に憂鬱を感じる。豫て覺悟は極めて居たがまさかこれほどとは思はなかつた程荷動きが極度に不振で金輸出禁止前のあの悲惨な時より猶賣れぬと嘆聲市に満ちて居る。特に悲觀の種となつて居るのは實需が殆んど跡を絶つた事で常用物まで左顧右盼して一向定まらず賣らうにも買手がないとの事である。關稅問題も大凡形體を現はしたが之には全く期待を懸けず、一路軟調に邁進して居る。然し〔總賣は買〕と云ふ事になるから或はどうかかなりはせぬかとも考へられぬ事もないが、頼り少ない望と云はれて居る。

東京市況

丸鋼 6mmの反動は中々深刻で西路伸鐵物が60圓59圓などの呼聲が掛つては崩壊より外道なく遂に6圓臺に陥落し9mmも手持が行亘つて居る處へ64圓の安値の發表が響いて仲間同志の取引は皆無となり、押せば5圓70錢位とも云はれて居る。12mm 在庫は大した數量ではないが一向力無く、ベース物は「丸鋼組合」の支持があるので今の處どうやら保合つて居るが、部分を握つて

全體を統制しようとするのだから中々骨が折れ、徒に組合外の者をして喜ばして居るに過ぎぬ、それかあらぬか5日頃から5錢程度の緩和を見たとも云はれて居る。中丸は追々と潤澤になりつゝある際の値下げ發表で下放れ氣味となり市内賣こそ6圓10錢を唱えて居るが實需向は臺割れで賣込んだと云ふ噂さへ耳にする。

角、平鋼 角も氣持は弱いが元來が小賣向のものなので他鋼材の様に崩落などはなくどうやら此邊を彷徨して居る。平もザリ安の程度と見られて居る。

型鋼 小型山形は發生品が多いので崩れ足となつた處へ大幅の値下げ發表が之に鞭つて居る。中型等山の6×50は心配の種の九州物の只の100噸内外の積出案内を見ただけで富士川の平氏式に早くも脅え其他も悪化を豫期して軟調を辿り、其他の大型物は10日の當所先物發表待ちであるが何にせよ12、1、2月の手當が過ぎたのが、極端な賣行不振と重つたのだから進退谷まつた形で氣配は當然悪いと見られて居る、大型等山然り、不等邊も然り、溝形は永い好調の反動で落調急に工形は3×6.3×5が2、300噸北海道方面へ出たお蔭で小堅い外前旬同様弱保合を續けて居る。

鋼板 16mmも僅か20日の間に9圓10錢買から8圓50錢買まで轉落したほど市中は弱氣である。23も16程ではないが相當の入荷により16と同様軟風吹き荒んで居る、32は手當薄の効果未だ消えず可なりの順軌で推移して居る。45も4×8が實需によつて一時8圓2、30錢迄反撥したが復び押目となり今は8圓丁度位を稱えて戻り、60mmはシーヤの進出があつて弱含みとなり、90mm以上もシーヤが賣應する爲め下放れとなつた。

大阪市況

丸鋼 降る—降る金が—と云ひ度いが金は何處かへ姿を隠してその代りに雨が—うつとしい雨が毎日のやうに降つてゐる。陰氣な5月雨である、桐の花の紫、鳳仙花の桃色、漆の花の黄、一やうに濕うて、花の香は晝暗き庭に霧よりも濃く漂ふ。無氣力な我鋼材界もこうしたアトモスイファーの中にあつて今にもカビが生えそうな状態である。

メーカー、問屋共に12分のストックを有して居り需要は益々減退する一方で、市中相場は下落の一途を辿るのみと云はれてゐる。6mm、8mmは伸鐵方面の手持捌けず遂にシビレを切らし前者は6圓3、40錢、後者は既報の如く5圓80錢見當に投賣してゐるやうであるが買手は見送りの態度を持してゐる。

9mm、12mmは纏つた商内出來ず従つて相場も5圓90

錢糊みである。ベース物は賣れぬので全く浮ぶ瀬がないと云はれ先行も不安視されてゐる。中丸は當所分野物だけに頃來順調な足取りを見せて居るが過般の大幅値下げ發表のため市場人は全く不意打を喰つた様子で市況は稍悪化した。

屋根草にひよんな花咲く梅雨哉

角、平鋼 角鋼は賣足の鈍き品物丈けに相場の動きも大して目立たず市中在庫も普通に 6 圓 50 錢と辛ふじて採算維持。就中 41mm は極端なる品掠れて 7 圓と光つてゐる。平鋼は市場一般に荷凭れ氣味にあり且つ伸鐵方面よりのダンピングのため相場がたゞぬ。概して賣あせり氣分濃厚である。

型鋼 小型等邊山形鋼は市中在庫豊富にあらざるも賣行不振のため相場は概して原價を下廻つてゐる、 $\frac{5}{8} \times 1\frac{1}{4}$ 、 $\frac{5}{8} \times 1\frac{1}{2}$ は弗々荷動きあり相場は 6 圓 80 錢見當を唱へられてゐる。中型等邊山形鋼は昨今比較的落付きを見せ相場も 6 圓 3、40 錢見當である。これは過般共販の賣出方法宜敷きを得たため即ち昨今の市況を充分考慮した賣出方法として市場では好感を持たれてゐる。大型物は目立つた商内なく唯小口當用買弗々散見せられるのみで従つて相場は妙味に乏しい。溝形鋼、工形鋼共に大口商内なく平凡に推移してゐる。

鋼板 先般發表されし薄板 120 圓は餘り突飛な大幅値下げのため氣配は氣迷ひを呈し各問屋共異口同音愚痴をこぼしてゐる。一中板は最近積遅れ品入荷のため氣分を悪くして居る。23 は原價を割るにいたつた。32、45 は弗々入荷あるも順次消化されてゐる。厚板は既報の如くシャヤーよりの投賣あり先旬來又復 10 錢糊み反落した。

線材 先物値段發表と同時に線材市價も總崩れとなり昨今では發表値を境界に小高下を演じてゐる。又一方最近南洋方面よりの大量引合ありしも先安を氣構へてか一向に注文が來ぬと云はれてゐる。

鐵力板 3、4 月頃の見越輸入の品相次で入荷ありストック漸増の態にて金融の關係上賣あせり氣分濃厚で従つて相場は續落の有様と云はれ入梅と共に先行氣遣はれてゐる。

販賣旬報 第 199 號 昭和 7 年 6 月 21 日

製鐵所販賣部

露西亞鐵鋼界最近の躍進 世界の文化と交化と交渉を絶ち、遠く北氷洋の近くに逃れて鷗翼をやすめてゐた猛鷲、「働かざる者は食ふべからず」の邦ソヴキエト・ロシヤールーブル紙幣が紙屑のやうに敲かれてゐたものも昨日のやうな氣がするが、舉國皆勞の效成り、産業 5 ヶ年計畫の實、結んでか今日の露西亞鐵鋼界は素晴らしい躍進振

を示して來た。

世界の鐵鋼が揃ひも揃つて減産だ。需要の皆無だ、と青息吐息の有様なのに引き代へて、露西亞だけは全く現在唯一の例外にある。

獨逸よりの輸入を見るに、1930 年鐵鋼 118,000 噸の輸入が 1931 年には 805,300 噸と約 7 倍の數量に達して居る。

世界的大恐慌の荒れ廻つた 1930 年から 31 年にかけて、需要は極端に萎靡衰頹したのが悪く定められた世界の因果であつたのに、それが反對に而も大きく 7 倍に達したとは將に驚異に値する。

是れを獨逸の輸出方面から見れば、獨逸 1 ヶ年間の輸出數量 1930 年 4,794,000 噸、31 年 4,322,000 噸、なので、露西亞向輸出は 1930 年が僅に 2% であつたものが 31 年には 19% に飛躍したわけである。それ故に獨逸の 1931 年の輸出が前年に比して 10% の減少に止まる事が出來たのは一つは 1930 年が既に前年より 21.5% と云ふ高率の減少を來たした後である事にも因るが、露西亞向輸出の激増が一層有力なる原因であると云はれてゐる。

事實一國にとつて 80 萬噸以上の輸出入は直接業界に影響を及ぼす莫大なる量數である。

次表、大製鐵國、獨逸、佛蘭西、白耳義、英國、亞米利加と大消費市場、アルゼンチン、日本、英領印度との輸出入に就て見るに其の縱横の合計さへ遙に此の數量に及ばないのである。

1931 年中主要製鐵國消費國輸出入表 (單位噸)

輸入國	輸出國	獨逸	佛蘭西	白耳義	英吉利	亞米利加	合計
アルゼンチン		99,713	37,163	105,266	82,146	25,684	349,972
英領印度		44,848	27,383	186,332	155,077	9,006	422,646
日本		107,545	15,878	42,024	51,011	24,806	241,264
合計		252,106	80,424	333,622	288,234	59,496	

露西亞が獨逸以外の國から輸入してゐるか どうか材料が無いので斷定出來ないが假令輸入してをらないとしても、兎に角 80 萬噸以上の數量は大きなものである。

尤も是れはソビエト・ユニオンの建設と復興に際して、重工業の未成と云ふ條件が重つた過渡時代の特別現象であらうが、此の世界的不況の際、例外的に重工業生産物の莫大なる需要増加をしたと云ふ事は經、政兩方面より篤と考慮が拂はれて然るべき問題である。

本年も引續き、既に 3 月末同じく獨逸に成品 100,000 噸の注文が發せられ、續て 4 月上旬鋼板 10,000 噸を追加したのみならず 4 月中にはなほより以上の引合が有るものと見られてゐる。

斯くの如く異常なる消費力のある處必ずや 斯業の勃興を伴ふのは當然である。果然最近の露西亞鐵鋼界は大躍動を開始した。次記諸報に據つて其の狀勢を推測され度い。

1) 本年 1 月 31 日火入を行つた Magnitogorsk 工場の第 1 熔鑄爐 (1 日の製銑能力 1,200 噸) は成績良好で 2 月 1 日から 7 日までの製銑量 8,325 噸に達したと云はれてゐたが其の後 4 月 11 日露西亞新聞紙の報する處に依れば 1、2 週間以來 1 日の製銑量 1,035 噸其の品質非常に優良にして、硫黃の含有量僅に 0.003% に過ぎざる由。

1) 5 月 2 日モスコウよりの通信は Magnitogorsk 工場の第 2 熔鑄爐が今週中に火入を行ふ事を報じてゐる。(1 日の製銑能力 1,000 噸)

1) 4 月末、1 日の生産能力 200 噸の熔鑄爐が Wyksa 工場に於て火入されたとの事である。

1) Kusnezsk 工場の第 1 熔鑄爐は 4 月 1 日より活動を開始した。此爐 1 日の製銑能力は 750 噸である。

以上はシベリヤに於ける大鐵鋼産業確立への第 1 着手と見られてゐる。

1) Kola 半島(西北隅フィンランドとの境界)の狭江附近に於て大鑛脈が発見された。此鐵鑛は硫黃を全く含有してゐないと云はれてゐるので非常に重要である。そこで鐵鑛業に關する 露西亞最高經濟委員會は北方露西亞に特別 5 箇年計畫を實施する事とし其の第一歩として既に北方露西亞即ち Kola 半島に於て 1937 年迄 1 箇年 1,350,000 噸の産出豫定の下に着々と計畫を進めてゐる。

1) 本年第 14 半期の露西亞製鐵鋼産高は激増を示した前年同期と比較すれば次の如し。(單位噸)

	銑 鐵	半製品	成 品
1932 年	1,398,170	1,467,854	1,143,836
1931 年	1,096,512	1,264,853	934,084
増加率	27.5%	16%	22.5%

1) 重工業を統括する露西亞國立局の局報は本年 5 月中に露西亞は歐洲第 1 位の鋼塊産出國となる可能性ある事を揚言してゐる。即ち現在 1 日の製産高は 18,000 噸であるが近々 20,000 噸製産が豫定されてゐるので、その場合は首位となる事は易々たるものであると云ふのである。(本年 1 月に於ても既に 516,000 噸を製産して暫時歐洲の第 1 位を占めた)

次記重要製鐵鋼 4 ヶ國の本年 1、2、3 月の鋼塊生産數量に就て見るに露西亞當局の言ふ處も決して根據の無い野望ではなく其の數字を信ずれば第 1 位になるならぬの騷ぎではなく世界鐵鋼界の大問題である。

	白耳義	ルクセンブルグ	佛蘭西	獨逸
1 月	237,700	145,689	469,000	404,950
2 月	242,350	155,732	463,000	457,504
3 月	246,010	153,309	464,000	—

1) 露西亞に於ける最初の大工具自給計畫は着々として進められてゐるが 4 月 30 日大製作工場の竣工を見、是れを Frasel 工場と稱し 700 の turning-lathes と 4,000 人の労働者を以て作業を開始した。此の新工場は全能力を發揮すれば 1,700 萬個の工具其の價額 5,200 萬ルーブルを製作する事が出来る。露西亞の願望は斯くして莫大なる工具類の輸入を絶滅するにありと云はれてゐる。

1) 5 月 7 日發モスコウよりの公報によれば先週中の鋼塊生産高は 1 箇年を基準として豫定された 1 週間の生産高に達したので 1 箇年間 6,500,000 噸の生産は充分可能と言はれてゐる。先週中は鋼塊の生産に力を傾注した爲か銑鐵の産出量よりも鋼塊の生産高の方が多いと云ふ妙な現象を呈したが、今後は銑鐵の産出にも全力を盡し本年中には 9,000,000 噸銑鐵を生産する筈と云はれてゐる。以上

材料不備の爲め詳細に狀況を知悉する事の出来ないのは遺憾で既述の内容にも正確を缺く點が多いと思ふが露西亞最近の鐵鋼界が異狀な活躍を演じつゝあることは事實らしく、従つて其制度、業績、活動共に今後の成行こそ世界鐵鋼界の重大問題で將來大ひに刮目、留意の要があるのではあるまいか。

8、9 月積先物協議會

日時場所 6 月 11 日、名古屋銀行クラブ

出席者 製鐵、4 社三都問屋

議 事 8、9 月積先物賣出に關する件

梅雨時の協議會が年 1 回の名古屋に開かれた 8、9 月積の値段が決定される譯であつたが時も折議會開會中、關稅問題、新平價切下げ、曰く、米國の金輸禁止等の惡材料で前途全く豫想難で取り敢ず本月 28 日東京に再開と云ふ事に決して延期された。

7、8 月積鐵力板の申込

賣出協議會の際當所と 4 社間に於て改めて決定すべきこととなり居りたる 7、8 月積鐵力板に關しては種々協議の後 6 月 7 日次記の通り決定した。

1、値段 100 封度 1 級品 9 圓 170 封度 16 圓 50 錢

2、數量 各社 150 噸づゝ計 600 噸

100 封度 240 170 封度 360 計 600 噸

8 月及び 9 月積珪素鋼板の申込と引受—申込約 900 噸

前回の 6 月及び 7 月の申込の際は電氣界の反撥、手持の消化、將來の永續性等非常に將來を期待される材料が

8-9月積先物協議會				
品 種	入電着	河岸着値段		備考
		(爲替\$31-1/8)	希望決定	
角鋼ベース	\$14.55	¥66.21	64.00	
平鋼(本所分野)	14.55	66.21	64.00	
大型山形鋼	14.30	65.43	63.50	
工形鋼	14.00	64.16	63.00	
溝形鋼(吋寸法)	14.35	65.58	64.00	
〃(耗寸法)	16.50	72.38	72.50	
丸鋼ベース	14.85	67.17		
〃 9mm	16.20	71.41		
中小型山鋼形	14.85	67.17		
鋼板 6mm以上	17.00	73.97		
〃 4.5mm	17.00	73.97		
〃 3.2mm	17.60	75.87		
〃 2.3mm	20.50	90.03		
〃 1.6mm	20.95	91.46		
線材 B.W.G.No.5	25.50	96.47		
黒薄鋼板 10-12-6	15.47			
鉄力板 170 lbs	1-10-9	18.87		
〃 100 lbs	0-17-1	10.51		

羅列されて結局 1,346 吨の申込となつたが、今回の 8 月及び 9 月兩月の申込は 870 吨と云ふ數量となつて前回よりも約 500 吨の減少を見た。

然し此趨勢は單に珪素鋼板に限つたものでなく全般に亘る傾向であるから寧ろ此數量は妥當なるものとして首肯される。

猶此申込は全部引受と決定した。

	B 1 級		D 1 級		T 1 級		計
	0.43耗	0.35耗	0.43耗	0.35耗	0.43耗	0.35耗	
8 月積	55	245	—	30	—	110	440 吨
9 月積	45	225	—	—	—	160	430 吨
計	100	470	—	30	—	270	870 吨

6 年度副製品契約高

經濟界の大波瀾に伴ひ一伸一退せる 6 年度副製品契約状態も後半に入り全般的に出荷極めて順調となり大部分の値上りを見せて豫想外の契約成績を示した。

品種別の契約數量次の如し。

6 年度副製品外部向契約高調

品 名	數 量	品 名	數 量
純ベンゾール	2,538.530	消毒藥	0.850
純トルオール	350.665	2 號石炭酸	136.216
100%ベンゾール	95.000	1 號クレゾール	205.416
モーターベンゾール	3,508.670	2 號クレゾール	54.756
ソルベントナフサ	591.000	スペシャルクレゾール	52.992
製鐵テレメン油	116.000	硫 安	11,237.750
コールター	1,100.000	精製瓦斯	2,710,000 立米
ピ ッ チ	21,506.270	鑛滓綿(1 級品)	194.150
クレオソート油	8,500.054	同 (2 級品)	94.000
粗製ナフサリン	2,100.000	同 (並等品)	187.000
アンストラセン	630.040	並等鑛滓煉瓦	33,505.500
良質ピッチ	1,510.000	異型鑛滓煉瓦	20,093 個
コーグス		等外鑛滓煉瓦	237,000 個
鋪道用タール	29.500	高爐セメント	343,827 樽
			419,230 袋

品 名	數 量	品 名	數 量
鑛滓バラス	44,731.9 立米	酸性芒硝	72.000
鐵筋用鑛滓バラス	6,186.5 立米	別製レトルトカーボン	245.000
鑛滓ターバラス	108 立米	ベンゾール樹脂	4.000
2 等 錫	22.200	金額合計	4,169,314.64
酸化錫	18.000		

7、8 月積中板共販理事會一据置

日時場所 6 月 11 日、名古屋銀行クラブ

出席者 東海、製鐵及 4 社

議 事 7、8 月積中板賣出に關する件

先物協議會も延期になつた。中板理事會もと云ふ話であつたが、統制宜きを得て居る斯界では延期もあるまいと云ふ話して直段は全部前月通り据置き、數量も買ひ度い人には賣ると云ふ全く靜觀主義の徹底した販賣方法を採る事に決定した。締切 5 月 15 日

外 注 値 段

	C. I. F.	換 算
Plate Base	\$ 16.85	¥ 73.49
〃 3.2mm	17.40	75.23
〃 2.3	19.40	86.51
〃 1.6	19.90	88.13

Ex. 31% charge @ ¥ 1.90

7、8 月積小型山形の締切——申込 383 吨

大幅値下げを敢行した小型山形の締切は 6 月 13 日で申込は次の通り 383 吨を蒐集し得たに過ぎぬ。

過去の飽食があり、組合外からの注入もオイソレと打切ること出来な事情もあるから値下げしたから直ぐに申込が増加すると豫期することが無理で、メーカーとしては喰い足りない感があるかも知れぬが實際は此位の處が將來を堅實ならしむるものではあるまいか。

申 込 數 量

東京	大阪	名古屋	門 司	計
95	240	48	—	383

猶引受は申込通りである。

5 月中大陸市況

別表ブラッセル取引所平均相場圖表を御覽下さい、「不況も不況、値段も値段」と其の「悪さ加減」に驚き入るとはとんだ石切の御茶番です。大底と云はれた 6 年 12 月からしてが 4 月を終る頃までは下げの一方です。が是れ以上の不振は破滅ですと云つて何も、例の「巨大なる上層建築の全部が或は靜かに或は急激に……」と云ふ時期が到來したとは勿論考へられませんが兎に角作ることも出来ず賣る事も出来ないと云ふ手のつけられない状態には違ひありません。

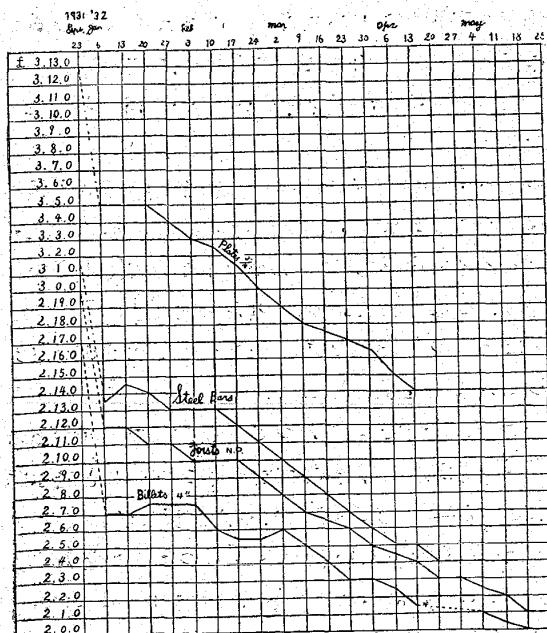
貧乏と命知らずは氣強いもので、こうなれば悪い材料が喰ひ入らうにも無い袖は振られませんし、メーカーは

採算大割で是れ以上の不振は死ぬ事と、覺悟は器用に決めてかゝつてをりますので愈々此の邊が掛値なしの大底是れからは小高下は免れないでしょうが大して悪くなる事は出来ないで、轉換作用が起ると云ふ段取にならない迄も此の邊の保合がミニマムで、景氣は上に、餘計に、揺り返へされて行くのではないでせうか。

と云ふわけで5月の大陸は暗夜に目がなれた恰好で多少明るくなつてをります。尤も季節も幸して各國共に事實荷動きもあるやうです。棒鋼など此の圖表でこそ保合つてをりますが、個々の場合に就てみますと1、2志高でも相當取引されてをります。工形が佛白の競争、半成品が英國の關稅問題の爲め弱含みですが其の他は全般的に強調、強保合と云ふ處です。

各國各所に夫々話題はあります、例へば佛蘭西では國內用として一時に100,000 噸の成品が動いたとか、露西亞からの注文は獨逸ばかりへではなく白耳義にも來たとか英國下院では3割3分3厘從價稅に關する討論が延期されたとか、ポーランドの銑鐵が大飛躍をして北米から印度銑を驅逐したとか、佛蘭西の工場は生産能力を50%より出しでをらないとか、白耳義では復々勞銀を切下げたとかがそれです。其の他にも良否相當に種はありますが、從つて部分的には一杞一憂小波瀾を畫いてをりますが、現在はどうも是等の一ツツの具體的事件は餘りにも無意義な存在のやうに思はれます。丁度大時化の海の飛沫のやうなものではないでしょうが、値段が上らうが上るまいが、荷物が動かうが動くまいが、大局から見れば問題ではありません、或る處或の人は良い材料

ブラツセル取引所平均相場圖表



備考 Billet 4月13日より5月4日までは値段發表せず

で一息入れる事もありますが其の場かぎり、其の時かぎり跡形も残りません、全く瀕死の重症でちつとやそつとの治療では何の反應もありません。前に申し上げました通り此處へ來て一歩つまづけば斷崖から落ちるばかりですが人間の叡智は決してそういふ結果になるを黙つて見てはゐないでしょう。

そこで只今の經濟組織の中で許すかぎりの力を振つて本腰に此の難局を切り抜けやうと仕初めました。その一ツにドナウ河畔小國の救濟策と云つたやうなものありましたが何と言つても只今開かれて居りますローザンヌ會議が今迄の中一番重大な大なる起死回生の努力であると言はれてをります。若し此の會議がうまく運ばないようでしたら大變です、なまじ手をつげた丈に或は飛んでもない結果にならないとも限りません。それこそ良いも悪いも目茶々々で平三景時腹を切らなければおさまりません。

然し愈々押し迫つた大晦目となれば借金の始末はどうにかつけるのが人間ですからまさかむぎむぎとおじぎをしてしまう事もないでしょう。4月末を大底とすれば何とか打開の途が講ぜられる事と思はれます。

暫く大局に、そして今後はローザンヌ會議に御留意なさつた方がよろしいのではないでしょう。

大陸鐵鋼界の總での動きはどうも其處から眺めなければならぬやうに思はれます。

ブラツセル齋藤囑託通信

6月10日 入電市場閑散にして商談なし、相場變らず
5月27日 發信 市況は靜穩裡に大體保合ひをりメーカーも此上の讓歩をするより工場閉鎖を選ぶと云ふ次第にて尙6月末より又々職工賃銀5分方引下の議有之候

メーカーは強氣を主張するも一方一般市況の大勢は前途中々多難にて當地に於ける佛國メーカーの競争烈しく少しく纏りたる firm offer あれば讓歩せざるを得ずと云ふ立場に御座候 今週のコーテーション次の通り

	Export.	Inland.
Bars (base)	£ 2-4-0	fr. 420
Angles (base)	2-3-0	420
" (med)	2-4-0	—
" (small)	2-5-0	—
Joist (N. S.)	2-2-0	425
" (B. S.)	2-3-0	—
Hoops (base)	3-5-0	675
Wire rods	4-10-0	490
Plates 5mm or 3/16"	2-14-0	525
Blooms (4")	1-18-0	350
Billets (4")	1-18-6	370

東西市況—無感覺

從量關稅3割5分値上げも愈々16日より實施となり、また最近木曾川橋梁、京都跨線橋など約1萬噸と云

ふ例のインフレーションの先驅とも見るべきものが現はれると云ふので、如何にも梅雨時とは云へ少しは變つた事でもあるかと期待して居た處、關稅問題に關しては「實施してゐるんですか」と云ふ程度、見積り物は我不關焉の態度でそれよりも3月以來の賣行不振が益深刻になるに連れて金融の梗塞が一段と壓力を加へ、賣りたくなくとも賣らねばならず従つて日一日と安値に追ひ込まれ強氣材料に對しては今日の處全く無感覺と云はれて居る。

然し先行に對して關稅關係からメーカー値段も恐らく下げる餘地もあるまいし3月以來の不況は可なり注文の手控へとなつたから滯貨が消化されるに連れて初秋の需要期には一縷の希望も繋ぎ得ると見て居る筋もある。

東京市況

丸鋼 6mmは反落急で遂に6圓50錢の成行となつたのが反つて灰汁脱げの感で一寸落付き模様となり、9mmの方は梅雨相場でギリギリ安値に落込み晴れ間も見せず罪を伸鐵に負はせて居る。鐵鋼界の中心丸鋼ベースの陰鬱も随分永い間續くが一向に歸趨の見當が附かず、丸鋼組合も5圓70錢を頑張り切れず5圓65錢に緩和し遂に之も紳士協定とかに變り結局賣れる値段で賣らうとまで軟化したと云はれて居る、中丸以上の軟調變らず

角、平鋼 角平共豊富な手持を擁して四苦八苦、特に平の2½"以下は充分行き亘て賣焦り氣味を傳へられて居る。

型鋼 小型の値下げは豫期した通り目前では買手の誘發とならず反つて市場軟化の材料に使はれ2、40錢の下放れを見た、中型等山も59圓と云ふ内證の發表が利いて弱氣を助長し6×50など特に強い反落氣勢と見られて居る。

例の地方の大口など納期2箇月と云ふので市場ではどうせ頭の上を通つてしまふだらうと期待薄な爲め何等の影響もない、それよりも名古屋の協議會で製鐵所が値下げの意圖があつたとかの話で28日の再協議會を控へて氣迷ひと見られて居る、従つて大型等山、不等邊も不冴溝形も賣行不振の聲を聞くのみで下押已まず、工形はあまり目立たぬ程度ながら軟調はまぬがれぬ。

鋼板 16は一時8圓60錢位迄反落したが14、5日頃小倉石油向手當が50圓許りあつたのを轉機としてお互手持ちの探り合ひをして見た結果案外尠いと云ふので復も反撥氣勢となり、23は16に付きたい氣持はあるが手持も相當ある様で今の處では寧ろ賣向ふて居るとの事である、32は綜合して此邊で一服模様で目先入荷と荷動によつて硬軟何れにか動かうとして居ると見られ、45も自分の腹工合で強弱兩様に觀察されて居る、90mm

以上は未だ軟調改まらず。

大阪市況

丸鋼 議會といふ興奮劑も切れた、關稅引上といふ熱もさめた、相變らず各種商品は躍らない。一體財界は何處に行くのだ、この謎は一寸何人にも不可解の難問題である。といつて唯指を喰へてゐただけでは經濟活動は鈍る一方である。一定の目標を定めて國民全體が緊張せねばなるまい。我鋼材界も其の範圍を脱するわけには行かないが生産、販賣の徹底を期し以てこの苦境を脱せんと氣分濃厚で従つて伸びぬまでも下げ止つて來たことは注目に値する。

細丸は市中ストック豊富にて相變らず不味沈靜の域を脱せず、さりとて採算割れの昨今なれば最早値下げの餘地なきものゝ如く只管材料待ちの態である。9mm、12mmは伸鐵方面よりの荷廻り順調にて市中満腹の有様で氣配は軟弱を呈してゐる。中丸は過般當所値下げ發表により市場もこれに追従して反落し目下6圓10錢見當を唱へられてゐる。

子々や蚊になるまでの浮き沈み

角、平鋼 角鋼は四圍の還境不良を眺めて不冴、而してこれは當所分野もの丈けに相場も大幅値下りはなく辛ふじて採算維持。12、25、32、38mmは日用品のことゝて比較的順調な足取りを見せてゐる。

平鋼は相變らず伸鐵に押され勝ちと云はれ當所定期58圓發表値等は問題にされず市價は57圓を唱へられてゐる

型鋼 小型アングルはメーカー並に伸鐵屋の安賣競走の様な有様で賣行不振の折柄一向荷物捌けず生産過剩と相俟つて市中在庫漸増の態にて妙味に乏しく伸鐵品中3×20、25、30、40は在庫多く原價を境界に小高下を演じてゐる。5×40は特に手持多く従つて相場は5圓50錢見當を唱へられてゐる。

中型アングルは既報の如く共販の統制宜敷きため相場は上向くまでにはならぬが氣配は強含み保合を呈し相場は6圓30錢見當である。大型アングルは中型ものに連れて法外な安値には賣應ぜぬ有様と云はれてゐる。ジョイスト並にチャンネルは弗々入荷あるも順次消化されて平凡乍ら無難に推移してゐる。

鋼板 16は關稅引上げも愈々確立したので小締りかたがた賣行も弗々あり在庫漸減と相俟つて先行樂觀視されてゐる。23は在庫豊富にて原價を割るにいたつた。32は當所及び東海の積遅れのため品掠れとなり従つて氣配も冴り。45は品薄にて8圓80錢を唱へられてゐる。厚板は荷凭れ氣味にて不冴。

線材 共販の大幅値下發表は一齊に市場人を驚かし

たと云はれ従つて市中人氣は極度に悪く在庫もさして多い方ではないが賣買共急に鳴りを静めて不氣味な沈黙を守り先行不安視されてゐる關係から相場は表面 78 圓見當にも前旬と變らざるも氣配は一段安い。

鐵力板 パイアンプルの罐詰等は最近製品安の原料高とあつて全く手も足も出ぬ有様と云はれ従つてその尻拭ひは結局罐原料の鐵力板の方へ持つて來るといつた有様で鐵力板相場の下押しは蓋し當然の成行と見られてゐる。

販賣旬報 第 200 號 昭和 7 年 7 月 1 日

製鐵所 販賣部

販賣旬報第 200 號に題す 鈴木 武志

200 旬の歲月には約 6 箇年のことである。第 100 號に題されたのは立石販賣部長であつた。時、恰も外註防壓時代の末期である。久しく外國品の蹂躪に委せて居た國內市場を奪還することが、當時吾等の唯一無二の目標であつた。「鐵鋼需給の國家的獨立」と言ふ戰旗を壇頭高く掲げた八幡工場は、渦巻く黒烟を冲天にみなぎらせつゝ晝夜最高速度の廻轉を繼續し、またゝく間に群がる外敵を國外に放逐することに成功し、旬報第 100 號當時既に國內に敵影を見ること稀なるの状態にあつた。

前後 6 ケ年の中、前 4 箇年を外品驅逐時代と名づくるならば、次いで來る 1 箇年は國內の混亂時代であり、最後の 1 年は其の整調時代とも言ふべきであらう。外敵驅逐の爲めに營まれた國內の生産設備は前數年に亘る後退なき躍進により、官民共に極度迄膨脹し切つて居た。時に見舞ひ來つたのは金解禁を動機とする國內市場の動搖であり、次いで世界的不況と名づく激浪の襲來である。歐米に於ては、吾等に先たつ數年、既に各種の聯合組合等の結成に依つて國內は勿論、國際的競争防止にまで遺漏なきを期したとは言ふものゝ、世界的に醸成せられた需給の不均衡は、今更どうすることも出来ない。況んや、國內的同業競争に付ては何等の準備も無かつた本邦業者は日に月に激退して行く需要の争奪に、同胞相食み、兄弟壻に鬨ぐに至るは必然の運命であつた。

本所の關する限りに於て、此の戰國時代に處せられたのは渡邊販賣部長であり、次いで來たれる整調時代に處せられたのは寺尾販賣部長であつた。渡邊販賣部長に課せられたる課題は出づるは制すべからず、入るは計るべからざる收支の不均衡を如何に遺繰りすべきかの問題であり、寺尾販賣部長の負擔せられたる責務は、隨處に展開せる官對民、民對民の市場争奪を如何に處置すべきかの點に在つた。渡邊販賣部長在職半歳の苦心は、やがて總務部長となるに及んで、經理の根本義に劃期的方針を

樹立するの素因となり、販賣部は經理機關の樞要なる一部として、新なる責務を負擔せしめらるゝことゝなつた。

各種共販組合の結成は一にかつて寺尾販賣部長の功績である。其の就職と同時に着手した事業は在職 1 箇年餘の間にその大部分を構成して其の實行に移らしめた。本所の關する限りに於て、民間との競争問題は寺尾販賣部長の榮轉に先たち既に一段落となつて居た。局部々々には一日二目の見落しはあらう。然し大局から見て、此の基中押の勝と判定して何人に異存があらうか。とは云ふものゝ本邦鐵鋼界は戰國時代から抜け切つたと言ふだけのことである。安土時代は過ぎたかも知れぬが、聚樂の美酒に酔ふべくは未だ早い。九州には島津がある。近畿に近く長曾我部がある。東國には北條が居る。整調時代に處すべく販賣部に負擔せしめられたる責務は更に重きを加へつつある。吾等は大方の叱正と援助とを期待しつゝ、長安に通ずる大道を究めやうとして居るのである。

8、9 月積先物協議會一再會一大幅引上げ

月日場所 6 月 28 日製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、4 社及東西問屋

議事 1) 8、9 月積先物賣出に關する件

去る 6 月 11 日名古屋で意見の一致を見ずして再會することゝなつて居た先物協議會は外注値段と 13、4 圓の開きを眺めて開かれた。

劈頭買手の意見として、名古屋の時と今日では、僅かの間に形勢が全く變化して C. I. F. は下つたが、極度の爲替安に加ふるに關稅の引上げは、先月の先物値段を速く引き離すに至つた。然し、市場は需要興らず荷動き甚だしく不振なる故据置きを希望するとの事であつた。

猶希望條件として別項の様根本問題として、是非統制に就て關心を持たれたしと附け加へた。

之に對し製鐵所側では、前回名古屋の協議會の際に於ける當時の「市價を考慮に入れる」と云つた意味を安値賣出しを希望したかの如く誤解した向もあつたとの事であるが、獨占分野に就て市價を考慮に入るゝは感違ひにて、嚴正に外注に追從する事こそ市場を安定せしむる所以で將來も必ず此方針の下に進む故今月は徐々に此目標に向つて近づく意味にて一率に 70 圓とし溝形物物は 77 圓にしたし、据置或は 2、3 圓高の如き姑息の手段は反つて異狀の買氣を唆り將來市場を悪化せしむる重大なる原因となること必定である。又希望條件にある賣出噸數制限の如きは寧ろ不自然にて値段に依りて買氣の調節を謀るが最も理想的のものであるから此値段なれば、恐らく自然に希望條件を解決するものと思はる、即ち此値段は爲替關係を全く考慮外として單に關稅引上げを加味し

た値段とも見らるゝを以て買手として異議なき事と思ふと云ふことであつた。

此提議は買手側には全く青天の霹靂で會議も俄然緊張した。理屈はその通りであるが、そうと知つたら上る前に一寸買つて置きたいと云ふ例の氣持が頭を出して一擧の値上げは先の楽しみがないから來月は必ず値上げすると云ふ條件で今月は2、3圓程度に留められたしと希望し、當所は今月は買つて呉れなくともよいから此値段にと繰返せば買はなくてよいと云へば買ひたくなるのが人情で買ふとなれば値段が氣に懸る、結局値段は上げたくもあるし、上げて困ると云ふ痛し痒しの板狭みとなり樽担折衝大に努めた結果遂に臺變りとするれば市場をリードする効果は充分あるが近き將來に天井を衝く懸念があると云ふ理由の下に製鐵所側で1圓を譲り69圓の76圓と云ふことに決定した。

然し之によつて來月の値上げも必然的のものとなり市場も相當硬化するものと考へられる。

外注値段は臨時のものであつた爲め當所分野のものだけであつた。

8、9月積先物協議會

品種	區分	入電沖着	河岸着値段 爲替\$ 263/4	希望	決定	備考
角鋼ベース		14:00	¥ 78.05	¥ 64.00	69	5圓上げ
平鋼(本所分野)		14:00	78.05	64.00	69	〃
大型山形鋼		14:00	78.05	63.50	69	5圓50錢 上げ
工形鋼		13:75	77.12	63.00	69	6圓上げ
溝形鋼(吋寸法)		15:40	83.19	72.50	76	3圓50錢 上げ
〃(耗寸法)		13:75	77.12	64.00	69	5圓上げ
		Duty	25.06	Charges	1.90	

2) 積遅れ品處理の件 販賣旬報 第142號の積遅れ品の處理の件「第1」の「3」第1節に付ては其後研究の結果當所と買手側間に解釋上の差違あるを發見し、猶實情に即する爲次記の通り協定し即日施行することとした。

次記

1) 指定積月中に積出を完了し得ざるものに付ては積月満了後10日間内に積月の翌月15日迄に積出不可能なるものに對し採否照會をなすこと。

例之、7、8月又は8月積に付ては9月15日迄に出帆し得る便船に間に合はざる場合9月1日より10日迄の間に採否の照會を爲す如し。

三 軌 會 (重軌條) — 10圓上げ

1、場 所 大阪電氣俱樂部

1、日 時 6月24日

1、出席者 製鐵、三井、三菱

關稅と爲替下落に依る採算有利に拘らず内地私鐵會社の極度の資金難にて新線、補修共に、サツパリ未着手、

只僅かに公共團體の電車軌條のみ4、5,000 噸の有様で上る値段が恨めしいやうである。兎に角強合みと云ふことになり次の通り決定された。

1、適用期間、7月より9月迄

1、値 段 一般賣 每噸 120圓替

黑板共販理事會—6月積締切

1、日時場所 6月8日

1、出席者 川崎、徳山、日鋼、中山、製鐵

1、議 事 減産聲明第1回の賣出は市中荷凭れと共販に對する懷疑の念未だ去らざるに禍されて豫期の註文なく僅かに薄物 2,251 噸、厚物 2,233 噸の註文を見たるのみ。各社の割當次記の通り、因に薄板 内地物はセイラーオプションに依り、厚物引受高を控除して臺數に應じ割當たり。

A 薄物部 (イ) 内地向

川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計
1,072.5t	320t	309t	—	—	1,072.5t

(ロ) 輸出向

川崎	中山	其の他
200t	350t	—

B 厚物部

	A	B	C	計
川崎	805.5	298.5	52.5	1,156.5
製鐵	165	25	—	190
中山	—	—	—	—
徳山	136	202	283	621
日鋼	71	66	129	266
計	1,177.5	591.5	464.5	2,233.5

其他の決定事項次の如し

(1) 本年8月末日を以て満期となる組合の繼續問題其他に關し7月4日以降大阪に於て臨時理事會を開催す。

(2) 減産の具體的方法を各社より提案あり理事會の承認を経、監視員規定及監視人の指名を決定せり。

7、8月積線材共販理事會—据置

1、日 時 6月23日

1、場 所 大阪電氣俱樂部

1、出席者 製鐵、神戸製鋼

1、議 事 關稅は上り爲替は下落する。依て輸入採算は100圓すら超ゆると云ふ頃、内地値段は6、7月積78圓にて市況此儘推移すとせば共販として再考の餘地なきやの議論甚しく、容易に決せず、遂に長き要望たりし輸出を今月より賣り應ずと云ふ事になり次記の通り決定された、かくして線材共販は謎の將來に一轉機を試みるに至つた。

イ、賣出數量 内地向 7,000 噸見當 超過ありと雖も引受せず 輸出向 1,000 噸

ロ、賣出値段 内地向 每噸 78圓也 輸出向 73圓也

尙輸出物に付ての處理は次の通り

イ、受渡月を含む 3 箇月以内に輸出し通關書類を遅滯なく共販に提出すること

ロ、以上期間内に輸出せざるもの又は輸出免狀を共販に提出することを怠るものに對しては内地向値段毎噸 3 圓宛加算したる金額を共販に支拂はしむること

ハ、通關書類 線材 輸出免狀 釘 同 針金 同 亞鉛引に付ては庫入許可書並に積戻免狀と云ふことになつたが詳細は税關當局と打合せの上更に規定の手續を必要とすれば其の規定に據ること

ニ、線材自體の輸出は勿論其他のものも當分共販より購入せる數量丈の輸出免狀を提出すること、換言すれば目減り其他を認めず。尙輸出に付ては最初のことであり未だまだ至らぬことが多いに違ひないが、共販及 5 社側協力して不當の結果を發生せぬ様留意すると云ふことになつた。

7、8 月積線材の締切一申込 1 萬 1,000 餘噸

6 月 25 日締切を行つた 7、8 月積線材の申込は示表の通り 1 萬噸を越えた。前月は 9 圓下げを斷行したに拘らず 4,000 噸足らずの申込しかなかつたものが何故今日此結果を招來したか。

先月賣出の際には東西の在庫數量まで並べ立て、其上アウトサイダの跋扈まで數へて相當期間の極度減産を要望しながら此の状態の少しも變らない今月には掌を離す様な此申込である、要するに悲觀も樂觀も觀方一つである。單なる目先の現象より斯くは心境變化を來したのである。

斯ふ云ふ現象を見せられると遂々言ひたくもない悪口も云ふて見たくなる。あまりに投機的な經路を辿ると末には碌な事はない。然し神戸製鋼、當所の増産を目前に控へて居ることであるから其の生命もあまり永くはあるまい。此の時代が見方によつては華かも知れぬ。

7、8 月積線材内地向申込及引受高

區別 向先	申込高			引受高			
	神	戸	製鐵所 計	神	戸	製鐵所 計	
東	京	—	4,200	4,200	—	2,500	2,500
大	阪	4,255	2,620	6,875	3,500	1,770	5,270
名	古	—	130	130	—	130	130
八	幡	—	100	100	—	100	100
計		4,255	7,050	11,305	3,500	4,500	8,000

厚板共販理事會—7 月積出—2 圓上げ

1、日時場所 昭和 7 年 6 月 23 日

1、出席者 川崎、淺野、東海、製鐵

1、議事 買手側として 4 社 (三井、三菱、安宅) 出席賣出に對する希望として市場の狀勢は他製品に比し比較

的高値保合を續けてゐるが荷動依然香からず此處暫らくの賣れ行きは期待し得無い、外註探算よりすれば爲替 28 弗 ¾ として 17 弗換算 84 圓 73 錢にて可成りの開きを見せてゐるが市場を漸次好轉に導く様据置に願ひ度しとの希望有り。

理事側の協議に入り、目下各社共官廳註文 其他にて手持註文多く此處當分引合に應ぜずとも工場能力の維持に交障なき状態なれば此際寧ろ受註を控へ強氣含みを示しつつ市場好化を計るの得策なるに意見一致し次記の通り決定。

(1) 先物賣出値段

耳附 65 圓(2圓上げ) 定尺 67圓(〃) 切板 74圓(〃)

(1) 隨時引合値段

耳附 68 圓(3圓上げ) 定尺 76圓(〃) 切板 77圓(〃)

尙 先物締切日は 27 日と決定した。

黑板共販理事會—7 月積賣出—3 圓上げ

1、日時場所 6 月 29 日 大阪電氣俱樂部

1、出席者 川崎、徳山、日鋼、中山、製鐵及 4 社

1、議事 買手側たる 4 社より次記の希望有り。

- (1) 發表値段

薄物	{	内地向	122 圓(2圓上げ)
		輸出向	100 圓(10圓下げ)
厚物	{	内地向	全部 2 圓上げ
		輸出向	適當なる值軸を以て賣出願度し
- (2) 賣出數量

薄物	{	内地向	7,000 噸
		輸出向	從來通り
厚物	{	内地向	同
		輸出向	同

(3) 既に 3 割減産を實行し居る際なれば更に一步進めて在庫品並に生産をも監視し以て市場の統制を計られたし。一般市場は共販の聲明せる 3 割減産の實行に依り多少刺激を得て在庫品の漸減に伴ひ好轉の氣運に在る折なれば此際多少値上し市場を導かれ度し、又輸出向は前月 110 圓にして賣出願ひたるも賣行殆んど皆無なれば市場探算より 100 圓に願度し

右に對し理事側より輸出向 10 圓下げの値下に關し質問有り、外國品と競争する必要なき状態に於ける値下は結局内地業者間の競争を激化するに止まり何等の利益なく單に犠牲のみを増大するものならんと云ふにあり、要は共販の方針一にかゝり多少の賣行鈍きを覺悟すれば市場は必ず追隨するの外なしと云ふに一致せり。

次いで理事側の協議に入り次記の通り決定發表せり。

- 1、値 段

薄物	{	内地向	123 圓(3圓上げ)
		輸出向	110 圓(据置)
		波原板	内地輸出向共平板 同値 各社共格差なし
厚物	{	内地向	全部 3 圓上げ
		輸出向	内地向より 3 圓安 各社の格差從來通り

- 2、賣出數量 薄物 { 内地向 7,000 吨
 { 其他 制限なし
- 3、賣出方法 セイラース、オープンの方法に依る
 但し厚物は買手オープン
- 4、輸出向を内地に振替た場合は振替月發表内地値段の
 10 圓増とす。
- 5、締切 2 日正午 發表 4 日正午

Black Sheets Quotation			
July Shipment			
	#30×3'×6'	#30×29½'×6'7'8'	
C. I. F. Price	£ 10-15-0	£ 10-10-0	
Exch. 1/2, 3/4	¥ 145'35	¥ 141'97	
Int. 1.3 %	1'89	1'85	
Duty	43'50	43'50	
Charges	'80	'80	
Com. 1.5%	2'18	2'13	
(280 sh.)	¥ 193'72	¥ 190'25	
(268 sh.)	185'42	6' 171'75	
		7' 169'38	
		8' 167'16	
	(Average)	¥ 169'43	

Black Sheets Quotation			
July Shipment			
	3'×6'×3 sh.	3'×6'×6 sh.	3'×6'×10sh.
C. I. F. Price	£ 6-5-6	£ 7-12-6	£ 9-0-0
Exch. 1/2, 3/4	¥ 84'85	¥ 103'10	¥ 121'69
Int. 1.3 %	1'10	1'34	1'58
Duty	30'67	43'50	43'50
Charges	'80	'80	'80
Com. 1.5%	1'27	1'55	1'83
(1016 kgs.)	¥ 118'69	¥ 150'29	¥ 169'40
(1000 kgs.)	116'82	147'92	166'73
(In bond)	86'63	105'10	123'81
(incl. com.)			

加入が、23 日に成立した事と底無しの為替安が刺戟となつて鋼材界一般は急に明朗な空氣が漲り初め、賣行の不振は未だ前旬と一向變らず又金融とても窮屈であるのに拘はらず今迄一顧だに値しなかつた諸材料を今更らしく思ひ出して 24、5 日頃より氣分だけは翻轉して來たと云はれて居る、原因として數へられるものは今日まで旬報で羅列した範圍外には一步も出でぬが只それに關心を持つたと云ふに止まる即ち

1) 關稅の改正及び為替の暴落により外注値段と内地値段が甚だしい逆輸となりたる爲めメーカー値段は先行値上げとなるも値下げの望なきこと、特に此爲替安は常識的に判斷して目先好轉の望薄なること。

2) 3 月以降の手當薄により手持は相當減じ目先入荷薄なること。

3) 相當經つた實需が 2、3 市中を彷徨して居ることとインフレーションの効果が將來利いて來るであらうと云ふ豫感。

4) 値段を安くしても賣れるなら賣りたいが、どうせ買氣はなく先行の仕入が安値物入手困難なら無理に安くしても駄目だ。

之に例の吾孺問題が解決したと云ふのを買つたのである。

吾孺問題に關しては 27 日吾孺精鋼所の清岡氏の話によれば一旦加入したとなれば業界安定の爲め努力するは勿論で、此際は需給の調節を計るが最も必要と感ずるから其爲には必要とあれば徹底した減産も敢て辭せぬとの事であるから、聯合會若くは關東共販の動き様によつては鋼材の中心丸鋼界も強固なる

安定に進み、引いて他鋼材にも相當の好影響を興ふるものと思はれる。

然し此處で 3 省しなければならぬのは飽食である、自分だけ買つて他人に買せまいと云ふ様なきもしい根性を發揮するときは皆が同じ考に落ちて結局は本年初頭の空景氣を繰り返して問屋は遂に自滅に陥るであらう切に自重を望むものである。(27 日誌)

28 日當所先物値上げ決定により午後の市場は俄然奔騰氣勢となり一時的に混迷したと云はれて居る(23 日夕誌)

(附記) 東西市中相場は今旬より耗サイズに改めた。猶黒薄鋼は近來米國品が殆んど其跡を絶ちたる爲め米國品を削除し日本市場は最も大量の生産をなす川崎製品を加へることとした。

東京市況

丸鋼 ベース物に就ては別項吾孺精鋼所の聯合會加

ブラツセル齋藤囑託通信

6 月 25 日入電 市場閑散、値段殆ど保合。

棒鋼 大型山形 中小型山形 工形(B.S.)
2-3-0 2-2-0 2-3-0 2-1-6

鋼板(3/16") シートバー ピレット(4')
(assorted)

2-13-0 2-0-0 1-18-6

6 月 3 日 發信 今週は別段前週と變りなく靜穩裡に手堅く保合居候

6 月 10 日發信 今週の市況も手堅く保合ひ相場に變化御座なく候

東西市況一續轉

明暗は紙の裏表煩惱即菩提で同じ材料でも心の持方で極端から極端に變るものである。鋼材市場も前旬迄は如何なる強氣材料も抹殺して只暗い暗いと眼を閉ぢて居たが、丸鋼界の瘤と云はれて居た吾孺精鋼所の鋼材聯合會

入が一般鋼材界氣分轉換の契機を成しただけあつて丸鋼先物値段も良い意味で油斷が出来ぬと云ふことにより先行底意は相當強腰ではあるが、永い間の情勢もあり昨日今日は未だ強弱混沌として居る、即ち市中は23日頃5圓40錢位の呼値のものが此處まで戻したと云ふに、一方では成城學園附近へ持込の54圓の150噸や東京市納入の85噸が52圓と云ふ弱氣のものもある現状である、6mmも大阪伸鐵物が56圓で出来たなど云ふ噂もあるが大勢から見て此處らが底と判断され9mmは55圓を最低として氣持も違つて來た、伸鐵關係が大阪と事情を異にするのも原因して目先立直りを期待されて居る、12mmだけは未だ頭重の域を脱せず、中丸も先高豫想に漸く底入れとなつたと云はれて居る。

角、平鋼 角、平は他鋼材と狀況を異にし伸鐵物の侵入や主要寸法が地方をお得意とする關係上斯の場合にも一向響かず未だデリ貧状態を彷徨して居る。

型鋼 中型等山は最低59圓の賣物があつたが先物値段引上げを豫想してどうやら6圓臺に戻した、只最近市場に出た木曾川橋梁向の800噸許りのものが、折角中型山形引受組合とかが出来たと云ふに拘はらず今回は各自の自由競争に委したと云ふ噂は眼を開かない佛の様な感がすると云はれて居る、大型等山は下げ止まりと云ふ程度と見られ、不等邊は6×50×75が7圓、6×65×75が6圓50錢搦みと云ふ様に品薄物が現はれて來て氣持をよくして居る、溝形も50×100など一時5圓80錢賣り或は大阪着6圓10錢などと云ふ話も耳にしたがそれが此處まで反撥しただけ氣持の變化が見られ其他も1、30錢の戻り足を示すに至つた、先行に對しても可なり希望を抱いて居るものと見られる、工形も他の型物に連て好轉し、6×75×125 6圓50錢など望を繋がれて來た模様である。

鋼板 統制振りで賞讃の的となつて居る中板は關稅引上げでは他鋼材と異つて安心して望を懸けられて居るだけ昨日今日頻りに反撥氣勢となり16mmは9圓10錢買迄戻り足となり先行猶好望を傳へられ、23、45が4、50噸實需があつたのを切つかけに急騰して9圓20錢を呼ばれ、32、45も品薄に底意強く、60.は5×10がシャーで切れぬ關係で氣持をよくし90以上も他に相伴して下支へとなつた。

大阪市況

丸鋼 少くともその當時においては多大の期待を以て世界各國人に迎へられたかに見えたあのフーヴァのモラ案は果して如何なる結果を世界の財界に齎したか。思ひ起すがいゝ、昨年6、7月、そらフーヴァ景氣だと

無暗に熱狂して世界不況回復を謳歌し廻つた時の有頂天さを。同時にその夢が忽ちに醒めて、フーヴァ景氣などは一擧にけしとぶ深刻な恐慌が歐洲を席卷した悲痛な思ひ出を。世界各國又もローザンヌ會議を開き目下頻りに國際的不景氣打開策を討議しつゝあるがこんな人為策のみによつて世界の苦境は脱することは出来ないであらうと餘り期待してゐないやうで兎に角時が解決してくれるとの至極呑氣な氣分が昨今我鐵材市場人に見出すことが出来るやうである。その證據には昨今の爲替相場の急激な變動等に對しても一向無關心で氣配は軟弱乍ら先旬來保合を續け只管實需擡頭するを待ち詫てゐる様である。

6mm, 8mm共に足鈍く従つて市中ストック漸増の態にして伸鐵業者の積極的市場進出に各問屋共頭を惱ましてゐる。ベース物は出廻順調にて賣行悪い關係から市中相場はたゞ生産コストを標準に總賣腰と見られてゐる。中丸は原價にて賣買せられ全く手間損といつた形である。太丸は相も變らず凡調。

梅雨晴や掘り出して見る物の種

角、平鋼 角鋼は元來出足の鈍い品物だけに相場の動きも少ないが昨今は市中品薄にて伸力に乏しいが氣配は丸鋼に比し稍々落付きを見せてゐる。平鋼は賣れぬので金融は益々逼迫して來るといつた有様で先行の見透しがつかぬと云はれて居る。

型鋼 小型山形鋼は荷動き弗々あるも共販の大市值下げに市場もこれに追従して反落し目下6圓10錢搦みを唱へられてゐる。中山形は市中約8,000噸位のストックはある様子でこれが消化に汲々としてゐる有様なれ共既報の如く先づ採算維持程度と見られてゐる。大型山形鋼は全く亂調子と云はれ相場は概して6圓3、40錢見當である。就中8"は市中品掠れにて7圓搦みに取引されてゐる。工形、溝形鋼共に在庫はさして多い方ではなく小口當用商内弗々あり至極平穩裡に推移してゐる。

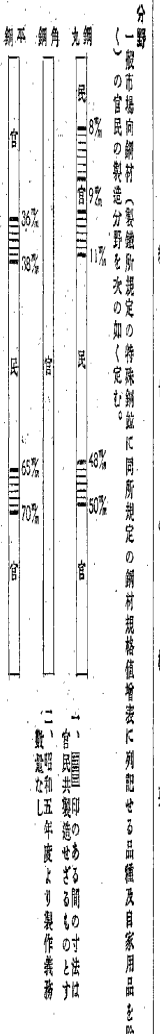
鋼板 中板は總じて原價賣買と云はれてゐる45は引續き品薄にて相場も先旬來1、30錢の反撥を演じたと云はれ5×10等は9錢と異常な活況を呈してゐる。厚板は共販の値上げ發表もひびかず相變らず不味沈靜の域を脱せず

線材 先安を氣構へて一時下押しを傳へられたがその不安も昨今は薄らぎ場面は至極閑散乍ら相場は別表の如く前旬來引續き保合を呈してゐる。

鐵力板 一部小賣業者の旗賣も昨今は影をひそめ反對に旗うめをせねばならぬやうな状態になつた。又一方オットサイズの脅威もなくなつたので相場は先般來上向歩調に轉じた模様である。而し實需筋の食指はまだ動かぬと云はれてゐる。

鋼材統制機關一覽表 (昭和七年八月三十日現在)

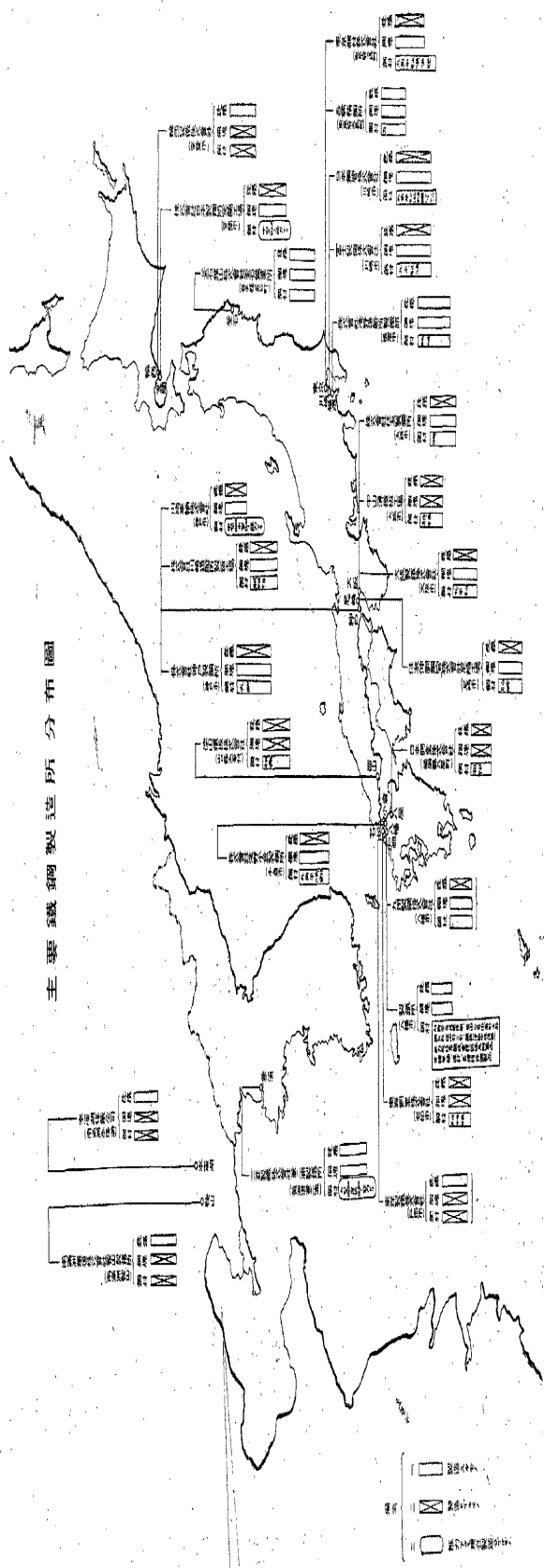
Main table with columns for '統制' (Control) and '生産' (Production). It lists various steel products like '鋼板', '鋼管', and '鋼丸' across different periods (e.g., 昭和八年五月, 昭和九年七月). Each entry includes manufacturer names like '川崎造船製鐵工場', '日本鋼管株式會社', and '石川島鐵工所'. It also contains detailed regulations and a bar chart showing production levels for different steel types.



1952 年 12 月 31 日 全國鋼鐵廠生產總量一覽表

廠名	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月	全年	備註
鞍山鋼鐵公司	114,000	108,000	102,000	96,000	90,000	84,000	78,000	72,000	66,000	60,000	54,000	48,000	780,000	
包頭鋼鐵公司	100,000	95,000	90,000	85,000	80,000	75,000	70,000	65,000	60,000	55,000	50,000	600,000		
武漢鋼鐵公司	85,000	80,000	75,000	70,000	65,000	60,000	55,000	50,000	45,000	40,000	35,000	450,000		
長沙鋼鐵公司	70,000	65,000	60,000	55,000	50,000	45,000	40,000	35,000	30,000	25,000	20,000	300,000		
太原鋼鐵公司	60,000	55,000	50,000	45,000	40,000	35,000	30,000	25,000	20,000	15,000	10,000	200,000		
濟南鋼鐵公司	50,000	45,000	40,000	35,000	30,000	25,000	20,000	15,000	10,000	5,000	0	150,000		
重慶鋼鐵公司	40,000	35,000	30,000	25,000	20,000	15,000	10,000	5,000	0	0	0	100,000		
昆明鋼鐵公司	30,000	25,000	20,000	15,000	10,000	5,000	0	0	0	0	0	50,000		
成都鋼鐵公司	20,000	15,000	10,000	5,000	0	0	0	0	0	0	0	30,000		
蘭州鋼鐵公司	15,000	10,000	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000		
西安鋼鐵公司	10,000	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,000		
西貢鋼鐵公司	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000		
其他各廠	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	100,000	
合計	400,000	380,000	360,000	340,000	320,000	300,000	280,000	260,000	240,000	220,000	200,000	250,000	3,000,000	

主要鋼鐵製造所分布圖



線材、薄板、鋇力板輸入速報表

區分 品名	6月上旬				6月中旬				6月下旬			
	神戸 自5月28日 至6月8日	大阪 " "	横濱 自5月28日 至6月6日	合計	神戸 自6月9日 至6月17日	大阪 " "	横濱 自6月8日 至6月17日	合計	神戸 自6月18日 至6月28日	大阪 " "	横濱 自6月18日 至6月27日	合計
B.W.G.No.5	285	—	—	285	195	—	—	195	157	—	—	157
線材 其他	21	199	—	220	67	202	—	269	42	302	101	258
計	306	199	—	505	262	202	—	464	199	302	102	446
6月計	—	—	—	—	568	401	—	969	767	703	203	1,673
薄板 0.7mm以下	—	381	71	452	99	197	146	442	—	—	—	—
6月力板計	508	—	852	1,360	1,046	578	217	894	99	578	217	894
6月	—	—	—	—	1,554	102	2,209	3,357	451	14	167	632
6月	—	—	—	—	—	102	3,061	4,717	2,005	116	3,228	5,349

東京 大阪 市中相場 (單位噸)

寸法	6月上旬		6月中旬		6月下旬		寸法	6月上旬		6月中旬		6月下旬	
	東京 6月 8日	大阪 6月 6日	東京 6月 18日	大阪 6月 15日	東京 5月 27日	大阪 6月 25日		東京 6月 8日	大阪 6月 6日	東京 6月 18日	大阪 6月 15日	東京 6月 27日	大阪 6月 25日
丸 鋼													
6mm	6.80	6.00	6.50	6.30	6.40	5.80	溝形鋼	6.10	6.30	6.10	6.40	6.30	6.40
9	5.80	5.80	5.70	5.70	5.60	5.45	0.312×2½×5	6.90	7.30	6.80	7.40	7.00	7.20
12	5.75	5.70	5.60	"	5.50	5.40	¾×3×6	"	"	"	7.50	"	"
19	5.70	"	5.55	"	"	"	¾×3×8	6.30	6.40	6.20	6.40	6.30	6.30
25	"	"	"	"	"	"	¾×3½×10	7.20	7.30	6.90	7.50	7.10	7.20
50	6.10	6.00	6.00	6.00	5.80	5.70	¾×3½×12	7.00	"	6.80	"	7.00	"
65	"	"	"	"	5.90	"	工形鋼						
角 鋼													
9mm	6.30	6.00	6.10	6.00	6.00	5.80	¼"3"×6"	6.30	6.30	6.30	6.50	6.25	6.30
12	6.20	6.20	"	6.20	"	5.90	¾×6×12	6.20	6.40	6.20	"	"	6.00
15	"	6.00	"	6.00	"	5.80	0.28×4×8	6.30	"	"	"	6.30	6.50
19	"	"	"	6.20	"	6.00	0.35×5×12	"	7.00	"	7.00	6.35	6.80
38	"	6.10	"	6.30	6.10	6.10	0.36×5×10	"	"	"	"	6.25	7.00
平 鋼													
¼"×1½"	5.85	5.80	5.70	5.80	5.65	5.60	鋼 板						
¼"×2	"	"	"	"	"	"	1.6mm×3'×6'	8.85	9.10	8.90	9.00	9.00	9.00
¼"×3	5.90	6.00	5.90	5.90	5.80	5.70	1.6×4×8	"	"	"	9.20	9.30	9.10
¾×4	6.20	6.40	6.10	6.00	6.10	6.00	3.2×4×8	8.70	8.50	8.10	8.30	8.20	8.10
½×4	"	"	"	"	"	5.80	3.2×5×10	8.40	8.60	8.00	"	8.10	7.95
等邊山形鋼													
mm mm mm	6.10	6.20	5.95	6.30	6.00	6.00	6.0×4×8	7.40	7.30	7.30	7.20	7.30	7.40
6×50×50	6.10	6.20	5.95	6.30	6.00	6.00	6.0×5×10	"	7.25	"	"	7.40	7.50
6×65×65	6.15	"	6.10	"	6.20	"	9.0×4×8	6.80	7.10	6.70	7.00	6.90	7.00
9×75×75	6.20	"	"	"	"	"	9.0×5×10	"	"	"	"	"	"
9×130×130	6.10	6.30	"	"	"	6.20	薄鋼板 (13枚)						
12×130×130	"	"	"	"	"	"	米	—	—	—	—	45	45
15×150×150	6.00	"	6.05	"	6.15	6.10	英	43.5	44.5	44.0	45	45.5	45
不等邊山形鋼													
¾"×2"×3"	6.20	6.35	6.20	6.40	6.20	6.10	八幡	44.0	45	44.5	45	45.5	45
¾×3×4	6.15	6.30	"	6.35	6.10	"	鋇力板						
¾×3½×5	"	6.40	6.15	"	6.15	"	米	{ 170lbs 20.00 20.20 20.00 20.10 20.00 20.10					
¾×4×6	6.10	"	6.10	"	"	"	{ 100 11.00 11.80 11.00 11.80 11.00 11.90						
½×4×6	"	"	"	"	6.20	"	{ 170 16.50 15.30 15.50 15.50 16.50 16.00						
線材													
No.5# 80.00 78.00 78.00 78.00 80.00 78.00													

備考 單位 100 Kg につき(置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は噸當り。鋇力板は 1 箱當り。

昭和7年4月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	國 別	英	佛	獨	白	澳	和	典	合	關	印	其他	計	本 年 累 計
條及竿鐵 (丸、角及平形にして、 徑又は幅 15mm を超えざるもの)		33	29	133	—	72	—	46	11	—	—	44	368	2,977
〃 (丸、角、平の もの其他)		93	48	173	182	158	—	16	71	—	—	3	744	4,242
〃 (テ—形及 ア—ン—ゲル形)		410	—	21	3	—	—	—	—	—	—	—	434	1,355
〃 (其 他)		1	—	2,694	—	8	—	—	—	—	—	308	3,011	10,106
レ—ル		—	—	42	—	—	—	—	53	—	—	—	95	1,767
フィッシュ、プレート		—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	93
ワイヤード ロッド (巻きたるものに して徑 5mm を 超えざるもの)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃 (巻きたる もの其他)		—	118	2,403	606	—	—	244	770	—	—	209	4,350	11,142
鐵板 (金屬を鍍せざるものに して厚 0.7mm を超え ざるもの)		51	—	70	—	10	—	5	15	—	—	—	151	1,142
〃 (金屬を鍍せざるものに して厚 0.7mm を超え ざるもの其他)		1,899	—	51	—	—	—	—	—	—	—	—	1,950	7,786
〃 (金屬を鍍せざるものに して厚 3mm を超えざ るもの)		31	—	180	—	38	—	29	3	—	—	65	346	1,474
〃 (金屬を鍍せざ るもの其他)		1	—	218	—	2	—	1	2	—	—	186	410	1,509
〃 (錫鍍したるもの (葉鐵及葉鋼))		4,298	—	3,406	—	—	—	—	1,215	—	—	—	8,919	23,503
〃 (亞鉛鍍したるもの (其他卑金屬を 鍍したるもの))		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	16	265
鐵線		24	—	5	9	1	—	23	94	—	—	1	157	1,243
リード・ワイヤー		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
鐵リボン		81	27	83	68	5	—	34	28	—	—	101	427	2,263
帶 (箍—鐵)		128	107	532	2,875	—	—	—	22	—	—	1,185	4,849	17,700
パラゴン・ワイヤー		19	—	20	—	—	—	—	—	—	—	—	39	120
線 索		—	—	5	—	—	—	—	2	—	—	—	7	52
撚合線		2	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	10	28
バーブド・ツイスト ワイヤー		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵筒及管		5	—	7	—	—	—	30	405	—	—	—	447	4,326
特殊鋼(稅表一)		11	—	14	—	116	—	20	1	—	—	19	181	656
〃 (稅表二)		3	—	9	—	65	—	10	—	—	—	4	91	257
鐵道車輛用軸		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	52
鐵道車輛用タイヤ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45
鐵道車輛用 スプリング		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		7,090	329	10,066	3,743	475	—	458	2,701	—	—	2,141	27,003	94,104
フェロ・マンガニース		21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21	192
フェロシリコン及シリコ ン—ピ—ゲルアイゼン		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他の不可 成鐵合金		—	—	7	—	—	—	12	—	—	—	4	23	175
シートバー (ティンバーを含む)		—	—	456	—	—	—	—	—	—	—	—	456	4,047
インゴット・ブルーム ピレット及スラップ		—	—	51	—	—	—	—	—	—	559	—	610	7,305
ケツグスチール及 パンプスチール		—	—	—	—	—	—	50	—	—	—	—	50	253
其他の塊及錠鐵		—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	2	2
合 計		21	—	514	—	—	—	64	—	—	559	4	1,162	11,974
銑屑及故鐵		173	—	—	—	—	—	—	—	31,257	—	25,337	56,817	193,966
		14,047	—	900	1,271	508	1,307	—	5,949	575	10,463	3,665	38,685	140,369

昭和7年5月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (其ノ一)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		角鋼		半圓鋼		球山形鋼		30½		1	
丸鋼		3/16"	5	造船材料		造船材料		31~32	277	1¼	28
0.5825"	2	¼"	1	計	10	mm mm	13	計	1,654	1½	14
0.762	5	5/16"	2	六角鋼		150×75	1	電氣鐵板		2	8
¾"	30	¾"	6	計	39	165×75	1	0.35mm	116	2½	6
¾"	3	7/16"	2	八角鋼		180×75	14	0.45	5	3	4
5/16"	11	½"	7	計	25	180×90	3	0.5	30	4	11
11/32"	15	5/8"	10	其他の棒鋼		200×75	4	0.014"	5	Pipe	15
3/8"	26	¾"	8	計	11	200×90	95	R.W.G.No.	2	fitting	8
13/32"	3	7/8"	3	造船材料		230×90	153	29	8	其他	
7/16"	18	1"	14	計	4	250×90	143	其他		鋼管計	138
½"	14	1¼"	1	其他棒鋼計	15	280×90	83	計	166	其他鋼材の部	
5/8"	14	1½"	20	造船材料		計	509	鋼力板		特殊鋼	
21/32"	5	1¾"	19	計	4	パイピング		lbs		丸鋼	244
11/16"	52	2"	9	其他棒鋼計	15	シート		100	587	鋼板	21
¾"	17	2¼"	4	棒鋼計	1,775	計	1,038	170	332	鋼板他	123
25/32"	6	2½"	9	型鋼の部		型鋼計	1,943	sheets		38	
13/16"	1	3"	10	等邊山形鋼		條鋼計	3,718	50	22	計	578
7/8"	15	3¼"	1	造船材料		鋼板の部		60	36	外輪	
15/16"	1	3½"	2	計	277	(鋼板0.7mm超)		70	34	計	3
1"	139	4"	12	65mm	7	1/16"	201	80	33	車軸	
1¼"	14	4½"	1	75	59	3/32"	36	90	11	計	19
1½"	52	5"	8	90	102	7/8"	162	100	69	其他鋼材計	600
1¾"	9	5½"	9	100	36	¾"	4	mixed	118	鋼材總計	19,906
1½"	19	6"	9	130	42	1mm	4	oilsize	4,022	フープ	
1½"	4	6mm	10	150	11	1¼"	2	其他	4,454	25mm	51
1¾"	15	計	189	160	20	1½"	4	計	9,718	26	5
13/16"	5	平鋼		計	277	2"	6	鋼板計	12,120	33	26
17/8"	4	½"	15	不等山形鋼		2½"	10	軌條及附屬品の部		35	5
2"	18	5/8"	31	造船材料		1¼"	20	軌條		38	10
2¼"	15	¾"	85	65mm	7	1½"	4	Elevator	23	43	25
2½"	5	7/8"	84	75	59	1.75"	41	用		45	10
2¾"	23	1"	94	90	102	2"	6	軌附計	23	48	5
211/32"	5	1¼"	69	100	36	2.5"	10	線材の部		50	14
2¾"	1	1½"	40	130	42	5.1"	6	線材		53	25
2½"	21	1¾"	1	150	11	B.W.G.No.		5.58mm	378	55	10
2½"	5	1¾"	51	160	20	12	3	7	101	64	80
2¾"	13	1¾"	1	計	277	13	10	8.63	1	65	5
213/16"	3	1¾"	1	不等山形鋼		14	13	B.W.G.No.		66	20
3"	19	1¾"	1	造船材料		15	10	6	355	67	20
3¼"	6	1¾"	1	65mm	7	16	21	5	2,017	68	10
3½"	12	1¾"	1	75	59	17	4	3	12	69	6
3¾"	3	1¾"	1	90	102	18	9	2	13	70	10
4"	16	1¾"	1	100	36	19	10	1	281	77	5
4¼"	7	1¾"	1	130	42	20	3	0	43	78	5
4½"	14	1¾"	1	150	11	計	581	0	55	79	5
5"	4	1¾"	1	160	20	造船材料		A.S.W.No.	5	80	4
5½"	7	1¾"	1	計	277	¾"	1	5	51	82	20
6"	6	1¾"	1	溝形鋼		計	1	鋼管の部		87	20
6½"	2	1¾"	1	3"×3/8"	5	鋼板		鋼管		90	1,733
7"	2	1¾"	1	計	5	0.7mm超計	582	½"	15		
7½"	3	1¾"	1	造船材料		(鋼板0.7mm以下)		¾"	24		
8"	4	1¾"	1	140×75	7	B.W.G.No.					
9"	3	1¾"	1	200×90	2	27	46				
10"	3	1¾"	1	計	74	29	20				
5mm	6	1¾"	1	溝形計	19	30	1,159				
8	1	1¾"	1	工形鋼							
66	4	1¾"	10	3"×1½"	4						
計	730	計	767	其他	22						
				計	26						

昭和7年5月中 神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (其ノ二)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
92	209	7/8	5	2 3/4"	8	4 7/8	1	リボン		フェロクロム其他	18
95	5	1	31	3	74	5	23	計	339	シートバー	2,086
98	35	1 1/4	15	3 1/2	5	5 3/16	50				
100	44	1 1/2	20	3 3/4	25	5 5/8	22				
108	10	1 3/4	30	3 3/4	42	5 5/8	63				
110	12	2	33	3 3/8	67	5 3/4	3				
112	2,710	2 1/8	30	3 1/2	10	6	1				
119	3	2 3/16	23	3 1/2	36	6 1/2	11				
125	18	2 1/4	17	3 5/8	103	7	10				
133	41	2 3/8	30	3 1/2	479	7 1/2	1				
142	305	2 1/2	91	3 7/8	2	8	1				
190	51	2 9/16	121	4	40	其他	52				
1/2"	7	2 1/2	16	4 1/8	19	フープ計	7,625				
5/8	76	2 5/8	30	4 1/2	91						
3/4	185	2 1/2	41	4 3/8	13						

昭和7年4月中 當所品種寸法別生産高 (其ノ一)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		丸鋼計 4,924		スケルブ		不等邊大型山形鋼		鋼矢板		5	92
小形丸鋼		中形角鋼		計 673		mm mm		計 1,147		5.5	76
9mm	2,730	38mm	100	棒鋼計 8,902		125×90	177	型鋼計 14,440		B.W.G.No.	8
12	2	44	56	型鋼の部		140×86	1	條鋼計 23,342		計	3,253
13	1	45	5	等邊小型山形鋼		150×100	340	鋼板の部			
14	1	50	157	20mm		150×90	469	薄鋼板		1/4"	1
15	2	65	238	25		計 987		鋼板の部		3/8"	2
16	2	75	187	30		不等邊山形計 1,461		薄鋼板		31"	3
19	4	90	23	35		溝形鋼		sheets		33	1
22	15	100	249	40		6"×2 1/2"	127	4		34	2
25	16	計	1,015	50		6×3	118	5		35	2
26	3	大形角鋼		計		7×3	107	7		36	7
28	1	mm		1,790		7×3 1/2	139	8		37	10
32	52	120	61	等邊中型山形鋼		mm mm		10		38	7
其他	7	130	121	65mm		70×40	150	13		39	8
計	2,836	140	24	70		100×50	159	2,230		40	9
中形丸鋼		150	20	計		125×65	257	R.W.G.No.		28	1
44mm	7	計	226	等邊大型山形鋼		150×75	593	30		26	37
50	68	角鋼計 1,241		130mm		180×75	9	計 2,551		43	37
55	120	小形平鋼		150		200×70	81	中鋼板		44	14
60	122	mm		計		200×90	171	1mm		45	3
65	380	19	234	2,337		230×80	5	1.2		46	4
70	149	22	384	等邊山形計 4,868		300×90	1,499	1.4		47	7
75	227	25	478	不等邊中型山形鋼		計	3,415	1.5		48	1
80	100	32	553	4"×3 1/2"		工形鋼		1.6		49	5
90	105	38	7	mm mm		6"×5"	12	1.8		50	7
100	80	44	4	65×50		24×7 1/2	1,974	1.85		52	2
計	1,358	50	13	75×50		mm mm		2		53	1
大形丸鋼		計	1,673	90×60		200×100	277	2.3		54	1
105mm	12	中形平鋼		90×75		200×150	134	2.5		55	6
110	45	60mm	7	100×70		300×150	1,115	2.6		60	4
115	41	70	32	計		400×150	1	2.5		61	2
120	5	75	286	4,868		計	3,513	3		62	2
130	241	125	66	乙形鋼		mmmmmm		3.2		63	2
135	10	計	391	mmmmmm		130×70×60	12	3.5		64	2
140	140	平鋼計	2,064	計		150×75×65	24	4		65	1
150	236	計	474	計		計	36	4.5		69	14
計	730	計	2,064	計		計	36	4.5		70	2
		計	2,064	計		計	36	4.5		72	19
		計	2,064	計		計	36	4.5		76	8

昭和7年4月中當所品種寸法別生産高 (其ノ二)(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
78	27	耳付中鋼板		ユニバーサル平鋼		軌條及附屬品の部		坩堝鋼丸	1	鋼塊	
80	3	5mm	1	9mm	6	重軌條		同角	6	普通鋼塊	101,304
86	2	5.5	1	14	1	50 ^K	131	電氣爐丸	32	鑄造鋼塊	440
93	1	計	2	19	243	40	6,398	計	55	電氣爐塊	766
1	14	耳付厚鋼板		特殊鋼板		37	8,595	其他		坩堝鋼塊	25
6mm	745	6mm	528	0.35mm	358	30	15	外輪	146	計	102,535
6.5	4	7	18	0.43	57	計	15,139	車軸	92	鋼片	
7	101	8	117	計	415	輕軌條		鋼線	23	內部向	60,824
8	403	9	120	鐵力板		15 ^K	223	ナット	14	外部向	6,754
9	144	10	22	lbs		10	450	リベット	36	計	67,578
10	202	11	15	170	1,048	6	580	ナット	2	シートバー	
11	108	12	114	112	54	計	1,253	計	316	內部向	6,398
12	199	13	9	100	511	附屬品		其他計	371	外部向	15,991
12.7	1	14	19	95	272	目板40 ^K 用	181	鋼材計	62,097	計	22,389
13	21	16	85	90	1	スパイキ	18	銑鐵			
14	94	17	7	B.W.G.No.		トラックボルトナット	1	本所	39,018		
15	1	18	4	33	16	計	200	戸畑	10,397		
16	132	19	29	31	5	軌附計		洞	17,060		
17	91	20	22	30	548	16,592		計	66,475		
18	19	22	14	29	296	線釘材の部		合金鐵			
19	131	25	9	計	2,751	線材		フエロ	46		
20	109	計	1,132	特殊鋼板		5.5mm	6,108	シリコン	46		
22	80	縞中板		美裝鋼板	48	計	6,108	計	66,475		
24	30	3.2mm	8	飛行機用	5	製釘材					
25	269	4.5	72	鋼板		5.5mm	1,638				
25.5	1	計	80	不鏽鋼板	13	計	1,638				
28	32	縞厚板		電氣爐	1	線釘計		7,746			
31	1	6mm	47	鋼板		其他の部					
32	67	8	15	艶付鋼板	105	鍛成品					
33	21	9	23	計	172	普通鋼丸	6				
35	3	10	10			同角	10				
36	25	12	11	計	106	其他の部					
38	1	計	106	鋼板計	14,046	其他の部					
40	20					其他の部					
45	14					其他の部					
計	3,334					其他の部					

昭和7年3月中民間棒鋼生産高表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸	鋼	30mm	22	70mm	40	角	鋼	平	鋼	三級品	111
6mm	204	32	790	75	13	55mm	2	22mm	2	計	2,858
8	195	34	31	80	15	75	7	25	8		
9	79	36	123	86	4			32	28		
10	1	38	854	90	14			38	259		
11	11	40	34	95	3			44	80		
12	5,986	42	199	100	14			50	1,231		
14	12	44	38	3 1/4"	1,013			63	6		
16	4,586	48	66	3 1/2"	1			65	780		
17	14	50	63	3 3/4"	244			75	10		
19	3,904	55	44	4 1/2"	253			90	32		
20	7	75	37	5	8			100	3		
22	3,145	60	27	二級品	210			110	4		
25	4,261	65	78	三級品	220			1 1/4"	103		
28	658	67	3	計	27,524	計	9	2 1/2"	201	棒鋼計	30,391

昭和7年5月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表

(單位噸)

寸法	丸 鋼								合計
	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				
	區分	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	
9mm	1,119	2,396	461	3,976	—	—	—	—	3,976
10	9	—	2	11	—	—	—	—	11
11	1	—	—	1	—	—	—	—	1
12	1	—	2	3	—	—	2	2	5
13	—	—	1	1	17	—	2	19	20
15	6	—	17	23	—	—	—	—	23
16	17	—	3	20	—	—	—	—	20
18	14	—	1	15	—	—	—	—	15
19	4	—	6	10	—	—	—	—	10
21	—	—	—	—	—	—	6	6	6
22	1	—	16	17	—	—	1	1	18
23	—	—	1	1	—	—	—	—	1
24	—	—	2	2	—	—	—	—	2
25	1	—	3	4	—	—	—	—	4
26	—	—	3	3	—	—	—	—	3
28	—	—	22	22	—	—	4	4	26
30	4	—	—	4	—	—	—	—	4
32	15	—	51	66	—	—	18	8	84
34	—	—	3	3	—	—	—	—	3
36	—	—	5	5	—	—	—	—	5
38	1	—	19	20	—	—	—	—	20
40	6	—	—	6	—	—	—	—	6
42	—	—	1	1	—	—	—	—	1
44	—	—	32	32	—	—	7	7	39
45	1	—	—	1	—	—	—	—	1
46	2	—	—	2	—	—	—	—	2
48	1	—	—	1	—	—	1	1	2
50	364	235	167	766	—	—	5	5	771
55	13	15	12	40	—	—	—	—	40
60	6	—	3	9	—	—	1	1	10
65	24	—	58	82	—	—	—	—	82
70	15	7	15	37	—	—	—	—	37
75	11	—	20	31	—	—	—	—	31
80	79	40	7	126	—	—	—	—	126
90	166	80	13	259	—	—	2	2	261
95	45	25	—	70	—	—	—	—	70
100	12	34	214	260	—	—	13	13	273
110	12	10	—	22	—	—	—	—	22
115	20	40	10	70	—	—	—	—	70
120	6	10	15	31	—	—	—	—	31
125	20	10	15	45	—	—	—	—	45
130	31	60	16	107	—	—	—	—	107
135	5	—	—	5	—	—	—	—	5
140	28	24	15	67	—	—	—	—	67
150	26	33	19	78	—	—	—	—	78
160	—	5	—	5	—	—	—	—	5
170	—	20	—	20	—	—	—	—	20
180	—	38	—	38	—	—	—	—	38
190	—	5	—	5	—	—	—	—	5
200	15	56	2	76?	—	—	—	—	76?
計	2,101	3,143	1,255	6,499	17	—	62	79	6,578

寸法	角 鋼								合計
	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				
	區分	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	
9mm	—	6	—	6	—	—	—	—	6
12	70	49	5	124	—	—	—	—	124
14	20	—	—	20	—	—	—	—	20
16	40	125	14	179	—	—	—	—	179
19	49	59	—	88	—	—	—	—	88
22	15	28	—	43	—	—	—	—	43
25	75	72	11	158	—	—	—	—	158
28	13	27	5	45	—	—	—	—	45
32	20	67	27	114	—	—	—	—	114
38	114	24	2	140	—	—	—	—	140
44	40	23	3	66	—	—	—	—	66
50	39	20	31	90	—	—	—	—	90
65	—	1	—	1	—	—	—	—	1
75	—	—	37	37	—	—	19	19	56
90	15	10	16	41	—	—	—	—	41
100	25	15	19	59	—	—	40	40	99
130	—	20	6	26	—	—	—	—	26
150	—	—	8	8	—	—	—	—	8
計	535	526	184	1,245	—	—	59	59	1,304

寸法	平 鋼								合計
	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				
	區分	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	
19mm	65	61	58	184	—	—	—	—	184
22	13	3	42	58	—	—	—	—	58
25	5	15	49	69	—	—	—	—	69
26	—	10	—	10	—	—	—	—	10
32	140	172	50	362	—	—	—	—	362
38	—	—	7	7	—	—	—	—	7
50	2	—	8	10	—	—	—	—	10
60	11	—	32	43	—	—	—	—	43
65	—	—	5	5	—	—	—	—	5
70	1	—	5	6	—	—	—	—	6
75	282	255	19	556	—	—	—	—	556
80	12	—	—	12	—	—	—	—	12
90	355	177	58	590	—	—	—	—	590
100	160	72	27	259	—	—	—	—	259
125	—	—	5	5	—	—	—	—	5
計	1,046	770	360	2,176	—	—	—	—	2,176
總計	3,682	4,439	1,799	9,920	17	—	121	138	10,058

